

1. 件名：「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング(再処理施設(2-140)、
廃棄物管理施設(115)、MOX 燃料加工施設(2-94))」

2. 日時：令和6年1月19日(金) 10時00分～12時00分
14時30分～15時40分

3. 場所：原子力規制庁 10階会議室(TV会議により実施)

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

(原子力規制部新基準適合性審査チーム)

長谷川安全規制管理官、古作企画調査官、大岡主任安全審査官、岸野主任安全審査官、羽場崎主任安全審査官、藤原主任安全審査官、新井安全審査官、小野安全審査官、上出安全審査官、山口係員、横山原子力規制専門員

日本原燃株式会社

決得 執行役員 再処理・MOX 設工認総括副責任者 他9名

東電設計株式会社 土木本部 耐震技術部 部長

5. 要旨

(1) 日本原燃株式会社(以下「日本原燃」という。)からの令和6年1月12日及び1月18日提出資料に基づき、今後の進め方、申請対象設備に係る具体的な設備等の評価(耐震設計に係る事項)及び次回審査会合における入力地震動の算定に用いる地盤モデルの設定のまとめ方について確認を行った。

(2) 日本原燃から、主に、以下のとおり対応する旨回答があった。

- ・今後の進め方については、作業の進捗を踏まえて次回以降の審査会合での説明項目を整理して、これに基づき着実に説明が進められるよう計画を立てる。
- ・申請対象設備に係る具体的な設備等の評価のうち耐震設計に係る事項については、耐震設計のプロセスに沿って体系的に設計内容やその妥当性の考え方が説明できるように整理する。
- ・入力地震動の算定に用いる地盤モデルの設定のまとめ方については、グループ単位で地盤の構造を丁寧に分析して、その結果を次回審査会合で説明できるように整理する。

6. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

7. その他

提出資料

なし

参考

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000120.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000121.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000122.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000123.html
- ・ 日本原燃株式会社 高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センター 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から特定廃棄物管理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000124.html
- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和5年2月28日）

「日本原燃(株)から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000242.html

- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和5年2月28日）

「日本原燃(株)から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000243.html

- ・ 令和6年1月12日

「日本原燃(株)再処理施設、MOX 施設、廃棄物管理施設の設工認申請に関する資料提出」

- ・ 令和6年1月18日

「日本原燃(株)再処理施設、MOX 施設、廃棄物管理施設の設工認申請に関する資料提出」

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	A規制庁管理です。それでは日本原燃とのヒアリング
0:00:05	します。本日は令和4年12月26日に申請のあった再処理施設及び管理施設、またでは5年2月28日に迫った多目戦略施設の設工認申請に対して、
0:00:20	令和6年1月12日、及び、令和6年1月18日に提示のあった資料をもとに、事実確認をするものです。
0:00:30	それでは出席者ですが、規制庁からヤマグチ、このハバサキフジワラコサクアライカミデ。
0:00:40	あとウェブから横山理事の方です。それでは原燃の方から出席者と、議題の構成と説明をお願いします。
0:00:51	はい。
0:00:52	日本事務局の中浜でございます。
0:00:55	日本原燃側の出席者、今後の進め方の出席者紹介します。
0:01:01	そしてアベSteeringチームより、ケツクハセガワ。
0:01:06	イシカワ。
0:01:08	ノモト。
0:01:09	イシグロ。
0:01:10	タカヤ。
0:01:12	イシハラ、WebからMOX及び再処理の事務局並びにサポーターへ参加させていただいております。
0:01:21	ご確認いただきます資料でございますけれども昨日ご提示差し上げました。今後の進め方となります。
0:01:28	はい、それでは説明の方、よろしく願いいたします。
0:01:38	はい。
0:01:40	水野でございます。それでは1月18日に提出をさせていただきました今後の進め方の資料設定ご説明させていただきます。
0:01:50	交通のところでございますが、前回まで、次回の審査会合の案件と書いてましたが、理事会委員会という
0:02:02	はいます。
0:02:07	昨日のヒアリングも踏まえ、時間のところが若干若干でかなり厳しい。
0:02:14	今後、昨日のヒアリング後今日この後、
0:02:18	耐震のいろんなやりとりも含めて、
0:02:21	審査会合の案件サイトウ調整をさせていただきたいと思っております。
0:02:27	はい。あと1ページのところの3ポツ3.1のところでございますが、下線を引いてある部分、体制としてですね、

0:02:37	山根ステアリングチーム呉が中心になって説明があった。
0:02:44	参りました。前の審査会合でもご説明した、やはりこういった、
0:02:50	やりとりを、
0:02:52	いや、聞いてみて見せて、とりあえずちゃんと責任を持たせて、
0:02:57	確信を作って担当者も含めて体制を構築していくと、できる人間をふやしていくと。
0:03:05	説明しておりました。そういったものを具現化していきたいということで、
0:03:09	1 ページの下から 2 ページにかけてですけど、多分グループにまとめた条文等、
0:03:15	ような体制を、を含めてですね、ヒアリングの説明を行う等体制の見直しを、
0:03:21	実施したということでございます。
0:03:24	はい。ページ側の 2-1、システム設計構造設計の方は、今回DBの設計項目の整理です。
0:03:36	時間がかかっているということで、
0:03:38	17 日までにある程度形をつくる方向で頑張ってますね、どんな問題点があるかと。
0:03:45	いうことも含めてご説明すると。
0:03:47	しておりました。
0:03:49	現状から申しますと、
0:03:52	さらに表の時間がかかっているのが現状でございます。ただ何でしょう、一つ一つやっぱり説明をしながらみんなで議論をしてやっていくということで時間なってるだけで、
0:04:03	何か全然もうハシモト評価はないということではないと思っておりますが、それでもまだ、一次処分もでき上がってない状態なので、
0:04:12	はい、80 ですね。
0:04:14	はい。
0:04:16	今現状は、並行して、まず竜巻をベースにまずやりましょうということでタダ事象確認書の担当者も右側井清がちょっと集まって、
0:04:27	議論をして、こういう方向にそれぞれ
0:04:30	いきましょうという作業でやってます。それであと、これがある程度、
0:04:35	形をみんな理解してきたんで、多分それと一緒にばらけてやっていくということで今作業体制組んでやってますんで、それほど時間もかからずにできるんじゃないかなと思ってる今 22 の、来週の前半ぐらいに、
0:04:48	資料、資料 3. 解説資料の作成と資料 3 に展開するための代表の設定ということもある。
0:04:56	今、

0:04:57	進めています。はい。
0:05:04	後の
0:05:06	別添 1 の方、
0:05:07	後で説明しますので、3、
0:05:12	関係でございます。今後の検討事項のですね、
0:05:19	黒丸一つに書いてある内容、黒丸二つ三つ目のこの項目自体は、巡回等の変更はございません。
0:05:29	ですね前回もちょっと申し上げておりました岩盤減衰のうち、Aランクとかを用いた減衰をする測定結果アノこれ次回、
0:05:39	残りの追加調査結果ということで、お出しする予定だというものでございますけれども、これが今ですね、有識者とのちょっと議論を踏まえて分析、見直しの状態になってございまして、
0:05:53	昨日の 18 の提出に間に合っていない状況でございます。
0:05:59	で、本日というところも踏まえまして、資料提出ヒアリングのところの 3 ページの方ですけれども、こちらの予定を若干変更しているところでございます。
0:06:12	ヒラター一つ目の 1 月 18 日昨日非常提出の分として、0102 のところを、オールでお出しするともともとと言っていたんですけども、乗り遅れているものは、二つございます。
0:06:25	一つが、今申し上げました岩石コア試験の結果、それからもう一つですね岩盤非線形の解析結果これも一部乗り遅れてございます。
0:06:37	小令和、我々ちょっと作業の中でちょっとデータの事故が起きましてちょっと作業が単調に間に合わなかったと。
0:06:45	ということでございましてそれちょっとやり直しておるのでちょっとすいません。昨日に載せることができなかったということでございます。
0:06:53	この乗り遅れた二つのアイテムでございますけれども、これを 1 月 25 日に、この部分を提出させていただきたいと考えてございます。
0:07:03	これを踏まえましてヒアリングなんですけれども、1 月 23 日のヒアリングは今、昨日お出しできた部分で、お聞きいただくと。
0:07:14	ということにはなるんですけども、追加でお出しする、新しいデータであります岩石コアなんかもございますのでツガネオダしする部分も、ヒアリングでご確認いただく必要が
0:07:24	あるかと思ひまして、ちょっと勝手にですね 1 月 26 日の午後のところに、
0:07:31	やらせていただけないかということで、予定のところでは申し込みさせていただいてるところでござい

0:07:38	で、介護資料の説明、介護資料を案でございますけれども、これ構成案。
0:07:46	そうですね。本日、ちょっと
0:07:52	ご説明いたしましたご相談差し上げて、そのあとですね、資料案を大体数サイクルぐらいは、ちょっとご説明差し上げながら、
0:08:04	2月5日の会合に向けて引き上げていきたいと。
0:08:08	ということで考えているところでございます。以上でございます。
0:08:13	すいません。もう一つ、もう一つ、すいませんちょっとアノオオイワないといけないことを示しておりました。
0:08:20	えっとですね昨日私たちも08期を提出いたしましたけれども、ここですすねちょっと出すべきものとして米等の
0:08:30	管理表といいますかコメント呉をいただく今いただいたものをどこに反映するかという、その整理表ですね、オダ比損ねております。これいつ作っておったんですけれども、
0:08:43	全く私のミスでございますましてアノして主席資料にエントリー、私がしなかったがために、ちょっとお渡しするところに乗っけることができなかったの、ちょっと申し訳ありませんけれども予定の資料じゃないんですが、本日、
0:08:56	提出の段取りをしてちょっと提出させていただきたいと思っております。申し訳ございませんでした。以上でございます。
0:09:05	はい。
0:09:07	違う。
0:09:15	まあ前回も出してからあんまり、
0:09:18	はい。
0:09:19	これはあくまで社内の作成を進めることで審査会合との管理セキは全部、先ほど2ポツで、
0:09:26	説明した通り、数、MOXのところの緑でグループ1サクライ。
0:09:33	なんかまだ時間かかりそうだと、こういって、
0:09:37	作成自体は、グループに最初は、
0:09:42	24、5、4、1234という流れで、順次作成をしていくということ。これも、
0:09:49	前回話があったDDS分けるということではなくて、グループ1以降は、
0:09:58	3をしていこうと。
0:10:00	で、
0:10:04	大体イメージとしてはこの、今2月目標とか2月上旬と書いてますが、グループ1が、2月上旬を目標に行ってます。これも、
0:10:14	結局は先ほどあったリリース。

0:10:18	藤代表の設定がもろに効いてくるので、それとの関係でスケジュールを考えていかなきゃいけない。
0:10:25	はい。
0:10:27	グループ 2 も結局はグループ 1 を見ながら、同じような考え方で進めていかなきゃいけない。
0:10:33	各個別の課題は、同じような、
0:10:36	感じでその関係も含めていかないと、
0:10:46	ん。
0:10:48	ページ以降は、すいません前回インタ工場結果の説明グループの安定性、
0:10:55	前回のやりとりを踏まえて、
0:10:59	括弧書きで構造の番号と、評価の後に後ろに、構造設計の関係がわかるような番号づけをしてリンクを取ったりということをして、それぞれの関係性ということ。
0:11:11	ちょっと量が多くなっちゃいますけど赤字で補足説明資料が何かというのは、番号だけんとわかりづらいので、タイトルで町会関係性が分かるようにさせていただきます。
0:11:23	どういことをやったかは気色。
0:11:27	ユリで書いてある通りでございます。2-1 と 2-2 の内野で消していると。
0:11:33	個別要素の番号だとイメージをお伝えして、
0:11:36	あとあの評価もですね、ある評価の項目が、結果が次の評価のインプットになったりするところがあるので、その番号の義務づけというのをやらせていただいと。
0:11:48	いうことでございます。
0:11:51	これが 98 ページまで続いてますが、9 ページですね。
0:11:55	全体の 8 ページが、
0:11:58	カナイで、
0:12:00	しますし、条件あたりで、インプットになったりする。
0:12:04	ザイゼンで結んでいる関係性がわかるように、まとめた表を作ったのが 9 ページ。
0:12:14	これももうちょっと皆さん、
0:12:16	見やすく、
0:12:20	後のこれと同じようなものを最初に坂で作らないと全体ジョイントできないということで、
0:12:31	あと 10 ページのスケジュールですが、これはまだ、
0:12:38	27 日朝定期の次どうするかとか、もう 1 回順次やってきたことの、

0:12:45	の面談等の設定を考えない、それを順次反映していきたいと思います。あとは、先ほど、次回のグループ1のところかというのと、
0:12:56	昨日の18日のヒアリングを受けた歯科医師の資料定数が24日に設定しておりますが、午前中の、
0:13:07	耐震のご指摘も踏まえて、全体をどうやってやっていくかというのをもう一度整理したいというスケジュールから整理をさせていただきたい。
0:13:19	名は以上です。
0:13:23	はい。その累計は、
0:13:27	由井図を、
0:13:28	2ページ目のポツですが、今後の話で、
0:13:39	規制庁からですか。
0:13:40	私から、耐震ですけど、自治会が、
0:13:47	基本地盤モデルの作成結果でその次に入力地震動ってなってるんですけど、
0:13:54	もう全部できたら、
0:13:57	地震動もできちゃうんじゃないのって感じもするけどそこは計算の時間ということなんですか。
0:14:02	出野でございます。そこえーとですね、おっしゃる通りモデルができればすぐにできる場所ではあるので、と同時に出すこともできると思っております。
0:14:13	何でちょっと分けたかという、モデルを各、
0:14:19	モデルが我々こうですということは、ちょっとご説明するんですけども、やはりちょっとコメントもいただくこともあるかもしれないかなと思ってちょっと私の勝手なあれなんですけども、モデルを確定してから、ちょっと地震でお出しするのかなあというようなイメージで、こういうふうな書き方をしました。
0:14:35	あまり確固たる考え方ということはありません。
0:14:40	規制庁神戸です。
0:14:42	普通、
0:14:43	作業する側としたら、
0:14:46	すぐ結果もいますよね。
0:14:50	これ、動線を見なきゃいけないってことだと、わざわざ分ける必要はあんまり感じないです。
0:15:00	ちょっと考え方我々の中にも入ってきて
0:15:03	等も同時にお出しする方向の、ちょっとまとめ方、
0:15:08	ですかね。
0:15:10	あと、補足ですけど、

0:15:12	それそういうのを戦略考えて提示いただかないと議論できないので、提案をしてきてくださいということですけど、入力地震動の算定結果、
0:15:23	という結果だけ出せば、じゃあいいのかっていうとそういうわけじゃなくてその後の戦略を早く説明してくれと。
0:15:30	早く説明してくれて説明してくれないと、審査会合進められませんよってというようなことを、
0:15:35	お話してますけどそれを説明する気になってないという、
0:15:40	アイテムに入っていないってということ自体が問題。
0:15:43	なので、はい。
0:15:46	基本
0:15:47	藤モデルつくってモデルによって入力地震動が出て、入力地震動の設計への反映方針といったところを、これ引き続きといいますか、シーケンスでやっていかないといけないと。
0:16:01	いう認識でございます。ちょっとそこも入れ、
0:16:03	ちゃんと入れるような形の仕切りをすいません、さしていただこうと思います。
0:16:08	はい。
0:16:10	そこに繋がるためのプロセスをどう踏んでいくかっていうことなので、手前だけ書いてしかもそれを小出しにしてっていうのでは何の話にもならない。
0:16:20	日本に出てますおっしゃる通り設計の反映が一番、
0:16:24	方法によって時間がかかったり、大変な手間が大体手間で説明、労力がかかるところがありますので、その辺、ちょっと明記したいと思います。はい。
0:16:34	いいですか。規制庁箱崎ですが、ここで言う入力地震動、
0:16:38	もう今までは代表的整理を進めてましたけど、最終的に設計となると、13番、
0:16:45	基準値、
0:16:46	岩盤は随契にしても、
0:16:49	競争はしていけない。これ13番。
0:16:51	入力地震が実際はできるわけですね。
0:16:55	という観点からすると、今、
0:16:57	どの、
0:16:59	レベル、どの段階で、どういう進め方を考えられて、
0:17:03	いきなり、まず基盤、基本基盤としては、とか設計やる前の、
0:17:09	こういう地盤構造になりますっていうものが出される。
0:17:13	で、入力地震動ってのは、先生だけで進める

0:17:18	のか、或いは、住宅、
0:17:21	結構それで工程とか、内容も変わってくると。
0:17:24	はい。
0:17:25	現段階では、どういう進め方がある。
0:17:28	玄野元でございます。まず一番モデル決め手で飼育でやるも設計の世界の話では、これ 13%分を一気に作ってしまうと。
0:17:38	いうふうに考えてございます。これが基本的には建屋入力に対応するモデルであり、入力であるということにはなるわけで、そのあとですね等価線形の世界の
0:17:51	江藤政権を考慮するような解析の時には結局それをベースにある値 13%になってくんのかなと、ちょっとすみません私も今具体的にあれ割合でこれっていうのが、ちょっとラインでしゃべってしまう。
0:18:05	てるんで、ちょっとそこワースイマセン、確認させてください。
0:18:11	はい。
0:18:19	規制庁菅です。2 ポツはよろしいですね。ごめんなさい。衛藤コサクです。今耐震の方の話でしたけど、設備側の話。
0:18:31	について、
0:18:37	考えてるのかなんですけど。
0:18:40	昨日の話を踏まえて、解析評価はやるんですかやらないんですかっていうと、
0:18:48	やるつもりでまだいると。
0:18:50	です。
0:18:57	うん。
0:18:59	先ほどの最後のスケジュールでも、
0:19:03	来週水曜日でしたっけ、出せて言ってますけど、
0:19:07	そんなレベルじゃないんじゃないのと思うんだ出せる部分もあると思いますけど。
0:19:12	どう進めるつもりなのかが昨日の振り返りもまだないので、
0:19:18	あれなんですけど、どうするつもりですか。
0:19:20	はい、功刀仁科でございます。まず機能をいただいてる一やりとりだけでも、20 番松村、
0:19:28	ミイ、
0:19:29	作業、この後お話のある耐震も含めて、全体に渡して、どういうす作戦でいくかということは、スケジュールに落としていきたいと思いたすけれども、少なくとも
0:19:44	29 の週ぐらいまでわかるかな。
0:19:46	うん。はい。

0:19:50	はい。
0:19:51	コサクです。そうすると一會合としては次次回にできるかどうかぐらい。
0:19:58	なって、
0:20:01	1回飛ばしのやつで何もなし、あれ、あれもやれって言ってイチタニできてないのみたいになるからやるのかもしれないんですけど、少なくとも自治会なんじゃないかな。
0:20:14	ということで、
0:20:16	その次次、次次回と言っているところの2ポツの部分。
0:20:26	については、また資料3の方に戻って再処理の方のグループ1とMOXのグループ2と、
0:20:36	いう古藤ですけど、
0:20:41	一井。
0:20:48	等、
0:20:52	この後SAの入れ込み方とか、そこら辺の話を確認させてもらって、どう進めるのかということによるかなあと思うんですけど。
0:21:04	MOXとダブルでいくというのは、
0:21:11	体制というか人的には大丈夫かっていうことで言うと、
0:21:19	MOXのグループ、
0:21:23	ニワ、
0:21:29	イシハラさんのSteeringチームで対応し、担当者は、
0:21:37	そこに注力できる長。
0:21:40	たいていということですかね。はい。評価のグループ1とワダっていうのは、
0:21:45	ただ、
0:21:48	うん。
0:21:49	一番上の若い私と、
0:21:52	その下の、
0:21:53	各グループの横断的な取りまとめとって、
0:21:58	普通書いてますけど、そこが関係もあるかもありますね。
0:22:03	全体支援っていうのがそのメンバーなんで、
0:22:06	はい。
0:22:10	はい。古作です。そうすると、どれぐらいいい。
0:22:15	準備できてるのかっていうのがまだいまいよくわかってないので、そのあたりを早く、
0:22:23	何ですかね、どういう状況なのかっていう、共有させてもらえればと思います。
0:22:33	うん。それいかんかなというところですかね。

0:22:43	はい。
0:22:49	はい。
0:22:51	前もそうですね。MOXの説明グループ1の評価と構造の説明グループリーダー。
0:23:00	できますかって話が。
0:23:03	非常に厳しい。
0:23:05	落選にしているのは、非常に厳しいということで安野ってのがあるので、当然それがずれてきたらまた同じように、
0:23:14	かぶれてできますかって話は、当然また考えなきゃいけない。そこも含めて、
0:23:18	全体のシナリオ考え方。
0:23:29	ほかに。
0:23:30	なければ、
0:23:33	いつ行っても、その流れで飛んでって話。
0:23:42	あとコサクですけど、3、
0:23:46	9は行ったところで後ろの方で話した方がいいかなと思うんで、5ページですけど、今の関係はもう一つの方の、
0:23:55	緑があり、
0:23:58	これ
0:24:00	原燃内の作業のイメージということだったので、説明グループ1評価のもの後ヒアリングを踏まえながら、ブラッシュアップしていくと。
0:24:13	いう作業をしつつも、準備は進めていかなきゃいけないということでラップしているということで理解をして、
0:24:21	ますが、そこラップしてる期間でどこまで仕上げられるかによってそのあとのヒアリング
0:24:29	がどう進むのかと。
0:24:31	いうことになってくるので、その状況を教えてくださいというところです。
0:24:38	まだ作業中というようなところであると資料提示はちょっと待ってくれということかもしれないので、どういう形で状況を説明すればいいかっていうのがちょっと悩ましいと思うんですけど。
0:24:48	その点をちょっと検討いただければいいかなと。
0:24:55	MOXの方で言えば、
0:24:59	説明、評価の方の説明、グループ2の方はグループ1の対応がとれたところで、その反映をし、それを、その知見を踏まえて作業を進めると。
0:25:11	いう絵なのかなと思いますので、それでしっかりとやってもらえればと。逆に言うと、評価の関係をまずグループ1注力してしっかりと調べてください。

0:25:23	ということだと思います。
0:25:26	MOXの話だったんで、そのあとの、
0:25:31	グループ察し後なんですけど、
0:25:33	まずですね、
0:25:35	上グループの番号でしか書いてないんですけど、内容わからないと、再処理とMOXの関係がわかんないので、まずちょっと内容変えて、連携するものは線引くなりですね。
0:25:47	して話をしていただきたいと。で、昨日のヒアリングだったかな。
0:25:54	耐震の、
0:25:56	MOX説明グループ1での耐震は、再処理のことは考えませんと。
0:26:03	宣言されたんですけど、甚だ疑問で、
0:26:07	それは誰がSteeringチームをグリップしてるんですか。
0:26:11	はい。西畑。
0:26:14	田野と
0:26:15	ナイトウの説明の仕方も含めて、よくなかった。
0:26:20	まず、
0:26:27	説明のトーンがなかったので、ちょっと整理をさせますけど、個別をどこをどうするかという議論の中で、社内であったのは、個別相続をちゃんとセットしてくれと。
0:26:38	最初に説明グループ1の構造、
0:26:43	ボックスで言う説明グループ1の構造もそうですし、補足出てないので、グループ4の評価の高速関係。
0:26:50	次ページ、全体どういう出し方をするのか。当然市場さん呼んだときにセットで出さないといけないところが完全に今、
0:26:58	ところで、社内でも議論して、スケジュール感というのを、
0:27:04	それも含めて、もともとニワ対
0:27:07	の頭の審査会合でやるとすると、少なくとも資料に関係する機能野瀬のように書いた個別は、
0:27:15	出てないと話にならない。うん。いうことを考えたときに、
0:27:19	グループ1の再処理と同じ個別補足があるんですよ。
0:27:24	出せるか出せないかという、社内体制の問題から考えると、再処理が追いつかないんだったら、一旦MOX版だけ出して最後ジョイントするかということも考えましようかっていうことをやっていたので、
0:27:37	そこの言い方の表現があまりよくなかった。すいません。関連部署といえどどちらかという必要なものを順番に出していきます。ただ、最終的には統合した形で補足しないと意味がないので、その辺の
0:27:48	作戦をよく考えましようねってところが、話をして、内容、

0:27:52	はい。補足です。
0:27:56	何のため 2 審査会合口頭でやってるかって言うと、同じような説明を、事業が違うからといって、両方でやってもらうなんていうのは、
0:28:06	両方人がダブっているのにあほらしいですから、両方について話をしなすと云っていただければ、
0:28:16	いうことであって、今言われたその補足だとかの作り込みで再処理がっというのそれは当然最初にまだ地盤ができてなくて、機器の説明もならないと。
0:28:26	評価なんて当然できないよねと、いうことですけど。
0:28:31	前々から言ってるように評価方法は説明できるわけ。
0:28:35	構造が明確になってなくても、ある程度こういう構造のものだというのは、もう既設なわけですから、
0:28:42	その点では同じ構造のもの。
0:28:45	は、この、こういうような評価方法コウ構造のものはこういう方法で、具体的にこういうふうにやっていきますとこういうのをつけていきますという思想は一緒のはずで、
0:28:56	それで言うと極論を言うと、発電所と同じようなはずで、
0:29:03	そこは一緒にしていきますという中で、具体を示すのは、
0:29:08	すでに資料 3 を終わっているMOXのこれでやりますよと。
0:29:12	いうことであり、MOXの方で登場してこない。パターンの評価の部分は当然その分は最初の方が先行するのでその後の最終のところの説明しますよと。
0:29:25	いうことだと思うんですね。
0:29:28	その会議をまずちゃんと整理してもらわないと、類型が整理できましてスタートしましょうかにならないので、
0:29:35	早くそれまとめといてください。
0:29:39	その辺りワー
0:29:52	再処理の方で言えばノモトさんがSteeringチームで、仕切っていくというゴトウ。
0:30:01	メインには、
0:30:04	もう副主査も立山で終わっているから、機器、
0:30:07	の耐震設計について連携を図ると。
0:30:11	いうことだとすると、再処理の機器の担当の方々、
0:30:19	等、
0:30:20	MOXの耐震の方、
0:30:25	が、
0:30:27	どうコミュニケーション。

0:30:29	いるのか。
0:30:30	それをSteeringチームってどう見ていくのかっていうことなんですけど、そのあたり、
0:30:36	辨野でございます。えっとですね、さっきおっしゃったように、評価手法のところっていうのはもう共通でご説明していくべきことなので、
0:30:45	はっきり言いましてその資料作り込みって、僕須藤さん処理とも一緒につくるべきもんだという認識してます。実際にですね今作り込みの時には、両方のグループで一緒に作ってます。
0:30:57	で、頭ではシステムチームとしてはそれで共通的にですね言うべきことが間違っていないのかそれで大方このことだけ言ってるのかと。
0:31:08	みたいなどころも見ながらちょっと補足説明資料ですねきっちり仕上げていくといったところをやっていくのかなというふうなところで考えているところでございます。
0:31:19	今実態の作業としては、一応、両方合わせてやってる。
0:31:25	はい、古作ですわかりました。そうしたら、
0:31:31	ボックスの対応のときに、ワーアノイトウさんがスズキのはしゃべられましたけど、
0:31:38	伊東さん1人で仕事してるわけでもないし、
0:31:42	今後、
0:31:46	等、
0:31:48	MOXだけじゃなくて再処理も含めて先ほど説明いただいたような体制で臨むとするとですね。
0:31:54	Steeringチーム、
0:31:57	わあ、検討が必要などころの対処方針なりを考えて、ジャッジしていくという役割であって、
0:32:05	整理したものの状況なり、事実関係、
0:32:12	話をするのは作業者のまとめ役なりがすればいいと。
0:32:19	ということだと思うんですけど。
0:32:22	その時にそれもそのまま名の方が一せ大井。
0:32:27	必要もないかなと思って。
0:32:30	なのでまとめ等、各担当とってというのは、
0:32:37	ヒアリングでも並べて対応されるのかなと思ってますけど。
0:32:42	先ほどMOXの耐震はちょっと、そういう体制になってるのかっていう気もしてですね。
0:32:49	僕の方のもう1人
0:32:53	作業をしている方なのか、或いは、連携してやっている再処理の
0:33:02	方、

0:33:04	その方向は同じ。
0:33:06	部分の人なのか、誰でもいいんですけど、
0:33:12	ちゃんと
0:33:13	人任せにしないで、関係するんだったら、関係する場所で自分をこうしているのだからこの場所ではこうして欲しいと。
0:33:21	というようなことがあればですねその場でちゃんといえる体制を組んで、
0:33:26	欲しいと。
0:33:28	いうところで、検討しておいていただければと思います。
0:33:34	逸見ハセガワ氏、今のところ、よく理解しましたんで、
0:33:38	うん。
0:33:39	複数、再処理、両方で、
0:33:42	対新藤体制作ってどう回すのかってのはちょっと1回話したいと思います。はい。はい、どうぞ。お願いします。それが評価グループ評価の説明グループ1でまず連携を図らなきゃいけない。
0:33:55	メインなところだと思います。換気とかも、再処理繋がるんですけど、
0:34:02	さすがにそんなに論点になるもんでもないかなと思うので、やっていって成果を見ていけば連携図れるだろうなと思いますけど、まあ、そうは言っても、
0:34:12	気になるところがあれば、連携をとって、適宜進めていただければと思います。
0:34:21	再処理の方のグループ1の外部衝撃の話、グループ2の内部事象の対応、特に溢水、
0:34:32	薬品、
0:34:33	火災はあれでしたっけグループさんでしたっけ。
0:34:36	4、4ですか。
0:34:38	ええ。
0:34:40	その辺りになる等、連携を図っていかなくちゃいけないと、いうのが強く出てくると思うので、それもMOXとの関係を
0:34:52	5ページ、
0:34:53	見えるようにして、どういうふうに、どちらがどういうふうにして対応して、連携を図る。
0:34:59	いうのわかるようにしてください。
0:35:03	ですとですね。
0:35:04	再処理の方に評価が書いてないのかよくわからんのですよ。
0:35:08	これは何ですか。
0:35:09	はい。ミイ。
0:35:11	アノ。

0:35:14	ものは、
0:35:15	当然出てくる。
0:35:17	評価に使わなきゃいけない。
0:35:19	評価の一覧表ができてないっていう状態に今書けないんですよね。
0:35:24	どこサクですよそれは何で、何でか。
0:35:31	ごめんなさいね評価の一覧表、今言われた資料 4(1)っていうことはそうですか。
0:35:42	何ていう。
0:35:44	自分から考えてですよ。
0:35:46	少なくとも資料にはできてなくても、レベルの別紙にある。
0:35:51	うん。みんなが少なく、
0:35:53	評価プランに出すと。
0:35:55	現状、メーカー、前から言ってる通り
0:35:59	これなんかみんなリンクを図りたいんですよ、早く評価評価同士とか構造とか、やりたいんですけど、こちらは後がことごとく全然ものが出てこない。私のところに期待できない。
0:36:10	またこの間、その全体枠に見渡してどこどこがリンク取ってるかなんていうのが書けないので、
0:36:17	こうなってますけど、一つは、説明技術、
0:36:22	うちも人も、最初にですね、2 問 3 も、
0:36:26	4 番の評価があるのは当たり前。
0:36:29	うん。そことして書くのは全然、
0:36:32	中身は何かっていうのは説明グループの説明で、院長は仮、
0:36:39	同じように変えていくことは、
0:36:41	います。はい。
0:36:46	うーん。
0:36:47	藤。
0:36:49	どうしようかな。
0:36:53	コサクですけど、まず、
0:36:56	石黒さんの、
0:36:58	範疇は、
0:37:01	説明グループ 1 だから、
0:37:03	そうすると一資料に資料 3 を作って
0:37:08	ているということで、
0:37:10	そうすると、資料 4-(1)なんかもできまっすよね。
0:37:15	でできてます。
0:37:22	なんで、

0:37:24	まだ分資料 3 で手一杯だから、
0:37:29	次回、
0:37:31	うん。
0:37:32	部長さんの方に、
0:37:35	現状であります。
0:37:38	え。
0:37:39	古作です。
0:37:42	人 1 人いればできるんですよ。
0:37:45	みんなで一生懸命悩む必要のない作業で、もう資料にできてれば、あと移すだけなので、
0:37:50	なんだったら、許認可業務課にお願いしてもいいぐらい、
0:37:55	なので、
0:37:59	それやらないとですね全体計画立てれないはず。Steeringチームでその計画を立てる人だから、
0:38:05	それを延び延びにさせてるっていうのは管理官が言うには、じゃあお前やれよみたいな感じになるわけですよ。
0:38:14	なので、ちょっと整理をしてください。衛藤グループ 2、
0:38:21	の部分。
0:38:22	国交はどうかっていうと、まだ資料 3 もままならないところではありますけど、着手は、
0:38:34	ということからするとグループ 1 とフェーズを同じような感じにもいるってことでいいですか。
0:38:39	はい、業務部の高井でございます。はい、おっしゃる通り、今の説明グループ 1 との並行で作業、
0:38:46	資料 23 というものを着手するところや、
0:38:50	評価一覧表というところでは資料 2 から評価を、
0:38:56	もうおっしゃる通り、
0:38:58	今後は、
0:39:00	やっていかない。うん。
0:39:03	はい。補足です。わかりました。
0:39:06	特にですね先日も話ありましたが影響評価の扱いどうしてかかっていうのを、最終的な影響評価が最後であるにしても、その繋ぎっていうのを整理をしてと。
0:39:17	いうところがあると思うんで、
0:39:21	まずグループにしっかりとやることでグループ 4 なり、
0:39:24	もうどうしていけばいいよねということでしょうからしっかりとやっていただいて、残りのグループ 3IV567 ですね。

0:39:36	これはどんな感じなんですか。
0:39:38	はい。
0:39:44	さんは、今回、
0:39:48	Bと、
0:39:49	にも付けないすけどあれで、資料のベースは、
0:39:53	そうでき上がるので、当然割付が、
0:39:57	うん。
0:39:58	グループ 4 も、
0:39:59	浅井はもともと、
0:40:03	整理はできている。
0:40:06	4 は比較的もともと規則、
0:40:09	細かく考えるし、
0:40:17	グループ
0:40:18	は、居住性なので、それ、逆に言ったら必然的に評価の方は、
0:40:24	抜けてない。
0:40:26	Dグループ 6 は、あのね、機能移送開放保証。
0:40:33	何だ、
0:40:35	ユフいいか、なんていうこれも評価があることはもう明らかに思う。
0:40:40	6 アサノさん、4、長山さんも全部進めて、
0:40:44	これももとのその他変更に合わせて、もともと評価は、
0:40:50	同様とかいろんなやつってのは今後出せるかと思います。はい。
0:40:56	はい。昨日わかりました。そうする等、もとのコンセプトからして、
0:41:02	整理をしなきゃいけないものを前にしていたんで、
0:41:06	着手は遅れてたかもしれませんが、そろそろ全体的に資料 2、
0:41:13	まではしっかりと、
0:41:15	終わらせて、
0:41:19	34 に入る礎は作っておいてもらって、連携の話までは整理すると。
0:41:25	いうことにしていただければと思います。
0:41:41	あれですよ。
0:41:43	それぞれのグループSteeringチームのメンバーはWありますけど、
0:41:48	Wっていうのはこのグループとこのグループとっていうので、先ほどMOXの構造と評価の話もしましたが、
0:41:57	ありますが作業者はそれぞれいらっしゃるんですよ。
0:42:04	酒業者もどっかでアプリとかあるんですかね。
0:42:10	それは特に

0:42:15	最後に来たときに、代表の設備はかぶっちゃうんですねその設計をして、
0:42:21	そのCABRIがあると。
0:42:23	そこは考えなきゃいけないですけど、どっちみち設計説明するっていう上ではあまり過ぎ、
0:42:28	うん。コサクです。実際その図面書きみたいなのはその設備所管の日等の作業が発生すると思うので、そこは確かにタダダブだろうなど。
0:42:40	思いますけど、肝心なのは、昨日のヒアリングも言いましたけど、数字なり結果ではなくて、考え方を共通して説明できるようにってことなので、
0:42:52	設備担当というよりは
0:42:55	条文というか事象全体をどう考えてるかまとめる人。
0:43:00	の仕事だと思しますので、速攻しっかりやっていただいて、
0:43:07	エビデンスになるようなところだったりっていう作業を順々に埋めてくように、計画を立ててもらえればWをうまく調整できるんじゃないかなと思いますので、
0:43:21	もしSteeringチームのメンバーが、そのグループで違う担当が違っていたとしてもですね、相談しながら進めていただければと思います。
0:43:42	ですよ。
0:43:51	それで、ちょっと話、
0:43:53	戻しちゃうんですけど、6ページに行く等、
0:44:00	条文ごと2、どのグループが関係しているのか、そのときの説明する事項と、補足と、
0:44:10	いうことをまとめていただいているんですけど。
0:44:15	これだけで細く足りてるかどうかわからないので、これ都度お話ができればと思いますが、
0:44:21	昨日も話をしたように、資料3関係での補足等、資料4関係の補足っていうの認識をちょっと整理をしないと話が、
0:44:35	混乱するかなと。
0:44:36	思うので、その点、今後す資料、
0:44:41	現状作ってあったものをもう少し直していくということもあるでしょうし、今後作るのはそういう意識でまとめてもらってると、
0:44:51	表で書いてある補足っていうのも直ってきたりするもんですかね。
0:44:55	はい。宇井西平でございます。はい。そういう意味で、
0:45:01	同じ番号で取っているものを書いてあれして書いてますけど、これは本来の役割を考えれば、やっぱり別にした方がいいんじゃないかみたいな考えが出てくる

0:45:13	はい、わかりました。
0:45:16	で、
0:45:18	外部衝撃、
0:45:21	はもともといろいろと説明しなきゃいけない項目は、ただあるっていうこと認識されてるからいろいろと入っていてですね。
0:45:28	火災についても許可からいろいろと話しているので、補足があると。
0:45:33	ということなんですけど。
0:45:35	閉じ込めのところが補足が二つしかない。
0:45:42	ですけど、
0:45:47	昨日の補足見ると、盛りだくさんに、
0:45:50	いろいろと入れ込んでから書類、書類名としては少ないけどみたいなところはありますが、ちょっと精査をしていただければと思います。
0:46:01	一番気になってるのは、耐震なんですけど、書いてないんですよ。相変わらず、
0:46:17	それをよろしくお願いします。耐震の方も昨日の説明だと
0:46:23	バンドウすみませんわかりませんが、
0:46:27	既認可からの変更点みたいなところで一色説明しますよみたいな話があるんですけど、
0:46:35	変更点じゃないところの説明も必要なのに、なんでそれで捕捉足りると思ってるのっていうのがよくわかんないですよ。
0:46:43	ていうところちゃんと一色の説明ができるようになってるのかっていうのは、すいません、野本さんの方でチェックをして、
0:46:52	対応いただければと思います。
0:46:55	すいません。
0:46:57	ですけど、実情、
0:46:58	そして、何でこんなことになってるって感じなんですけど。
0:47:03	MOXの耐震の、
0:47:06	共通中には不動産、
0:47:09	だけど、補足は再処理の配信切れたりとか、そういうグループの状況になってるから、不動産のこと。
0:47:17	そういう感じな。
0:47:23	アベヤスタちょっと確認してもらっていいですか正直私そのボックスと再処理の、
0:47:30	連携のところ。
0:47:31	大事なところまでちょっと目を呼んでないとか処置があったので、
0:47:36	今の話も踏まえて、あれですね。

0:47:40	ムラシマってよろしいですかね。はい。
0:47:42	お願いします。
0:47:44	これが本当に肝で、
0:47:46	の申請から1年経ってこの議論してるのか、ちょっと疑問なんですけど。
0:47:52	正直、決算を、その耐震関係者、再処理でやってる耐震関係者と、
0:47:58	雑談とか話しはしたんですけども、
0:48:01	確かにその連携のところがコウ。
0:48:03	カチッと定まってないなっていう感じが私箇所あるんですね、ちょっと来週話しないといけないなと思ったところなんで。はい。確認します。はい。お願いします。
0:48:14	で、一方で
0:48:18	MOXの方の耐震のポイントはグローブボックス、D、グローブボックスって、ちょっと特徴があるんですよ。
0:48:25	最初にもグローブボックスはあるけど、あんな大きなものじゃないですよ。
0:48:31	一般的なグローブボックスだと思うので、その点ではちょっと特殊な論点があるんだろうなとは思いますが。
0:48:39	だとする等、それ特有の枝葉の部分として、MOX側が単独で作ると。
0:48:46	いうことはあってもいいかなと思うんですけど、現状その全体が見える形での説明体系を作ると。
0:48:54	いうのがまず第1なので、その点では今後再処理が物量、
0:48:59	を抑えていくために、やりやすい。
0:49:03	形を作っておくっていうことが大事だと思うので、連携をして、どちらかという再処理は作っていくみたいな。
0:49:11	ことにしていった方がいいんじゃないかなというふうに私は思う。
0:49:15	ちょっと検討。
0:49:21	さかのぼってあれですけど、
0:49:26	臨界は、
0:49:29	委員会自体が一申請内容じゃないからっていうことはありつつ、
0:49:39	資料、スグループさんだからまだ未着手っていうのが実態ですか。
0:49:46	はい、与儀石田でございます。
0:49:50	ちょっとここも考えます。全体見て、タダノ、
0:49:54	もともとから、臨界、
0:49:58	会話っていうのは、また差別化して、包括業務ですけど、

0:50:03	委員会は、細かい細かいヤマモトの添付して、7-2、書いてる内容的にはタダとはいえ、計算の前提条件とか何とかなの設定の考え方で本当に何か要らんのかっていうところはずっと整理かなと。
0:50:18	はい。補足です。
0:50:20	部分部分で必要だろうなと思うんですよね。
0:50:23	そこを考えて欲しくて、逆に言うとはですね、全般的に補足説明資料が一つとして一式説明できる資料として作り込んでいる感じがあってですね。
0:50:35	補足じゃないんですよ。
0:50:39	ていうのが、どうなのかなと思って、それで作業量ふやしてませんかかっていう気がするんです。
0:50:46	許可の段階からあったのは、許可の補正を何度も受けるのは嫌だから、
0:50:54	ちょっと全体整理してよっていうことで補足を作っていたので、
0:50:58	補足が、
0:51:00	仰々しいんですね。
0:51:02	逆にそのエッセンスを抜き出した許可本文添付になっているので、一式で補足まず作りましようってな。
0:51:11	出る文化が残っちゃってるかなって気がしてですね。
0:51:16	現状は資料は共通 12 の資料 3、4 っていうのが、添付書類の骨格。
0:51:26	を表す。
0:51:28	それはその後、書類づくりとして精査して文章を変えていくと。
0:51:33	いう作業をしてってくださいねということ今書き上げろということではないわけですよ。
0:51:41	そうすると一その補足といったときにその補足で書き上げていったのでは後でいいよと言っていたやつを今やるみたいなことになっててですね。
0:51:50	作業の進め方として、言葉とかおかしくなってるんですよ。それで補足がまだできませんだから説明があったかっていう。
0:51:59	いうのは、スケジュール感としておかしいので、
0:52:04	資料三、四を変えていった中で、補足が必要なことっていうのを部分部分部分で示していくと。
0:52:12	いう発想にならないと、スケジュールリングできないんじゃないかなと。
0:52:16	思っていてですね。
0:52:18	改めて、今評価の方も、
0:52:23	昨日ヒアリングしましたから、

0:52:25	どういなのが必要かっていなのが少し、マインドが変わってくるんじゃないかなと思いますので、それを踏まえて、補足のあり方と、
0:52:36	ちょっと整理をして、なるべくコンパクトに、順々に潰し込んでいけるように、
0:52:42	していただいたらいいかなというふうに、
0:52:45	はい。杉井。
0:52:47	はい。
0:52:49	第1回から、
0:52:53	いらない。
0:52:55	うん。
0:52:56	そういったところも含めて、はい。
0:52:59	やっていただいているように
0:53:01	結構第1回時には、
0:53:03	電力さんの補足見ながらやってやって、
0:53:07	添付の内容、
0:53:08	大分書きながら、その中で理事会は説明し、末のトピックスを回避か書き、
0:53:15	追加していくみたいな、補足が振れぐらいにあるので、それを踏襲してるものはどんな感じだったのが事実だと思います。火災なんか最たるもので、
0:53:24	全体の中でやっぱそれぞれ、できてるものはいいいんですよね。うん。火災は許可の段階からしっかり、どこのサイトも含めてしっかり書き込んで作る
0:53:35	てるので、わざわざ変える必要はないのでそれはそれでいいんですけど、
0:53:39	あの作業で困ってるようなことがあるのであれば、そこは整理をした方がいいんじゃないかなと。
0:53:49	長谷川です。補足の話は、
0:53:51	確かに私も、なんかすごい重たいなっていう感じがしていて、共通12を作りながら、補足の重たい補足も作ってるっていうのですごいコロンマンパワーが、
0:54:02	やってて、
0:54:03	ちょっと
0:54:05	タイミングをずらすとか、その必要な時に、まず必要なものを出すとか、
0:54:10	ちょっと
0:54:12	何ですかね。

0:54:13	リストからして1回認識を合わせる必要があるかな。うん。まずこれを出す必要があるねとかですね、ちょっとそういうふうに思ってますんで、ちょっとグループ1で、
0:54:24	今ちょっとそれを作るように言ってますんで、ちょっとまた議論させていただきたいなど。
0:54:34	はい。古作です。
0:54:38	と8ページ目までで他何か言うことある人います。
0:54:45	せっかく、
0:54:48	規制庁のあれですけど、6ページ目の機能、
0:54:53	ヒアリングで確認した例えば閉じ込め02とかってあるじゃないですかオープンポート。
0:54:57	はい。
0:54:58	あれが多分、資料3、資料4の補足なんです。
0:55:07	かぶってますね。はい。
0:55:09	なので、もっと先の話をしてしまうと、当分先の話になると思うんですけど、申請書にしたときに、
0:55:17	工事計画本文、添付資料、補足って構成になったときに、
0:55:23	添付資料の内容を補足するような形になるのかなと思うんですよね評価とかになると、
0:55:29	そうした際に、今やってる共通中に、どう、
0:55:33	申請書の関係。
0:55:36	ていうのが出てくるのかなと思っていてですね。
0:55:39	先を見越して、添付資料を補足する際にその補足として、
0:55:45	例えば資料3と資料4ごとに補足を別々に作るのがいいのか、それとも、
0:55:51	合体させる方がいいのかっていうところは、
0:55:55	もう、まだ今答え見つからないですけど、考えていかなきゃいけないのかなって思っていますね。
0:56:01	あんまり発散させすぎると、
0:56:03	その、
0:56:05	添付資料の補足が成り立たないっていう可能性も出てくるのかなって思ったりしたんですけど。
0:56:12	そこまでの検討ってあんまりしてないのかな。
0:56:15	思うんですかね。
0:56:17	あと、補足ですけど、
0:56:20	多分、資料3と4は、
0:56:23	あまり、

0:56:25	仕訳なく入れなきゃいけないという場所は、添付書類にはないと思う。
0:56:29	ですよね。大体は設備設計の説明があった上で評価に入るので、
0:56:35	その前段部分で説明が必要なものはその部分での補足になり、後段での評価の部分は評価で補足するということにできるだろうと思うんですけど。
0:56:47	一方で、分ける必要もないよねっていう程度感のものはあって、一体で説明しちゃった方が早いよねっていうのがあると思うんです。それはちょっと話ずれますけど、濃縮で今面談しているやつも、
0:57:02	警報等、
0:57:06	ワーアノ。
0:57:08	システムとしてはいっぱいなのに、
0:57:10	発電所で分けてるから分けますっていうふうに、
0:57:14	話をしてですね、
0:57:16	でも許可は一体で帰ってきているので、わざわざ無駄な作業しないでいいんじゃないのっていう話をしているように、
0:57:25	特に評価のために設計をしている。
0:57:29	ようなものっていうのは、評価の話を聞かないとその設計の妥当性がわからないので、その点ではまとめて説明した方がいいっていうことはあると思うんですよ。
0:57:39	そこら辺のその内容を踏まえながら作成したらいいんじゃないかなと思います。
0:57:47	ちょっと8ページのところで教えて欲しいんですけど。
0:58:03	合わないと。
0:58:07	はい。
0:58:10	これをもらう、おりませんっていう補足も資料でやったら同じような話をしようかなと思ったんですけど。
0:58:17	エミコウさんの委員会とかで合わせてやらないって基本的方針上で、それ情報委員会のチームでやってます。そうです。
0:58:33	はい。古作です。そしたら9ページで、
0:58:40	等、
0:58:41	評価で条件だ強い、
0:58:44	しているもの。
0:58:47	がどこかということの紐づけを整理されたと。
0:58:53	ということなんですけど。
0:58:59	事業、あと、
0:59:01	これってここにあるものですかっていう気がしてて、
0:59:06	そういう趣旨であれば、

0:59:10	資料 4 の頭にあるのか。
0:59:14	何以下、
0:59:18	資料三、四を確認する上で、この点はどこ見てくださいますねっていうマッピングとして、
0:59:25	ないといけないのかなと。
0:59:28	思うので、はい。ちょっと、この、
0:59:32	この表記だけで、それがわかるかっちゃうのもあってですね。はい。結局、何がこの矢印に乗っかってるのってなあにっていうのが、
0:59:42	わかんないと、ピンとこないと思うんですよ。条件だとすれば条件のパラメータの名前とかが、
0:59:49	確か。
0:59:51	昨日の資料だかどっかで書いてありましたよね。わかりますか。はい。
0:59:55	なので寺尾の評価項目いけないよね、なんなりなのか。うん。
1:00:01	資料 4 と資料 3 のつなぎなのか、全体として、おっしゃっていただけるいわゆる時の間に何が入っているかと。
1:00:08	キーワードも出して、
1:00:25	6 ページからの表を今回作ったときに、ちょっとページ跨いで飛んでるのがいっぱいあるんで、整理は必要だねって思って作ってただけなんで、最終的には何かなり、
1:00:36	折り込み、
1:00:37	はい。
1:00:46	はい、古作ですよろしく申し上げますそれで
1:00:50	と国井これで整理しといて欲しいのわー昨日も少しありましたけど、これって今説明し切れるみたいなことで、蓋開けたら、いや、
1:01:01	この前提が後であってその前提を枠としては押さえきれません。
1:01:06	そっち説明させてからにしてくださいなんてなると、
1:01:10	ぐちゃぐちゃになっていくので、もうそれがないように整理をしといてねっていうことですから、
1:01:17	まずは原燃内です、しっかりとこの関係性を見て、これで説明し切れるねということ、
1:01:25	は、まとめて、その説明のロジックで資料を準備して行ってヒアリングに臨むと。
1:01:32	いうことをしていただければいいので、それその前に事前に我々がどこって言うてもしょうがないと思いますから、
1:01:40	まずはしっかりと社内で整理していただいて、それを資料 4 なるのところで見えるようにしていただき、
1:01:49	ヒアリング資料の形で、また、お話ができればと思います。

1:02:09	コサクです。それで本体側の方に戻っ。
1:02:13	できてですね、2 ページの
1:02:16	FAなんですけど、
1:02:21	ちょっとこの紙見る限りにおいては、先ほど石原さんが説明されたような話はできてきました。
1:02:32	入れ込めるようになって認識は合ってきましたのでやるだけですからっていう雰囲気は感じなかったんですけど。
1:02:40	感じなかったんですけど、できてきてるんであれば、
1:02:45	何で竜巻のそのシートぐらい持ってこなかったのって気もするんですよ。
1:02:50	Dでふた分けるとって感じがまだ払拭し切れないんですけど。
1:02:57	その言葉を信じるんだとするとですよ。
1:03:01	いつ、どういうものを出してそれでその整理でいいかどうかというのをやるかっていうことなんですけど。
1:03:10	22 日とかって言われてたのはどんな。
1:03:21	そのまま、
1:03:33	はい。
1:03:34	現状、
1:03:35	はい。
1:03:37	はい。
1:03:38	はい、鳴海小浜。
1:03:40	そうですね。はい。やってて、
1:03:43	はい、細田ですそれはあれですかね、36 条の資料に、
1:03:49	まずは、
1:03:51	見る、はい。
1:03:52	それが保険になってる八条の部分っていうのは、
1:03:56	Headは、
1:03:57	わかりましたじゃそれならできてる部分をアノサンポ
1:04:04	皆さんそういう。
1:04:06	はい、わかりました。
1:04:09	一方で今書かれてるのは何か悩み事項的なことが書かれているような気がするんですけど、これどうするつもりかって言うのちょっと一つ一つ話してもらっていいですか。
1:04:21	はい、じゃあ、
1:04:23	サンゴアノ。
1:04:26	自分で、
1:04:32	前から言ってる通り

1:04:34	これSEチーム側、日比と話しながら、
1:04:39	基本、SAの要求事項に対してDBに振る先を何番何番何番って長く或いは分解して、それぞれ何の要求を利害を出すのかっていうのを、対象を明確にするっていう作業をやってもらってるので、そこでクリアできる
1:04:54	はい。その作業をやっている中で、試運転の時には対応しながら整理をし、
1:05:02	で、
1:05:04	100メートルの離隔の方は、
1:05:13	これも屋外の、
1:05:16	私も、
1:05:17	全然まず違う話をすると。
1:05:20	自分でオクが、
1:05:22	可搬設備、
1:05:25	いろんなところに収納するやつじゃないですか、或いは屋外でやったせいで、
1:05:29	屋外の、
1:05:31	宮井が何をか版が入ってるんですけど、
1:05:34	環境条件としては屋外で考えなきゃいけない人もいるからって、可搬を準備しておかなきゃいけないチームから建屋に集合するから大丈夫。
1:05:43	行政希望者が入っていく、若干こと気持ち悪いっていうのはあるんですけど、その辺の整理はちょっと準備します。
1:05:49	100メートルの方は、あれですね、人類の自然現象を考慮した場合に、イノウエとの観点から両方ダブルで死なないように役目と話しますよっていうのを、要求事項的には、SAFERそういう基準がありますと。
1:06:03	基本設計方針をDBに紐付ける時にはそういう授業休事項があるよということ、
1:06:10	受けながら屋外の方の
1:06:20	不具合の上、常設だったかな。
1:06:26	の上席じゃなく、ないの。
1:06:29	防護対象施設に対する設計方針に、
1:06:32	紐づけて、
1:06:34	ただ要求事項としては、確かヘルメット話しますよっていう条件を付したような気もしますが、ちょっと待ってくださいね。
1:06:41	ハセガワの吉井です。はい。伺います。
1:06:48	ちょっと私の方から二つ目の欲しいですけども、ちょっとこれ、作成したタイミングと、今とではちょっと状況変わっちゃってるんで、こんな考え方で紐付けてますっていう報告になっちゃうんですが、

1:07:02	八条側の設計方針は、主に屋内にしまって、防護しますっていうものと、あと屋外
1:07:12	に置けるものに対しては耐性を持たせる設計ですと、いうのを述べています。その他にも、屋内だけの開口がある場合はどうするんだとか、波及的影響どうするんだと、というようなそういった補足的な
1:07:27	方針がずらずら書かれてるのが8条です。それらの、
1:07:31	どこに紐づけるこの100、36条で設定してる100メートルの相互分散という方針をどこに充てるのがベストかと。
1:07:41	全部に当てるのはちょっとナンセンスなので、宛先の一番いいところを探るのにちょっとどこかなというのを頭悩ましてたというのがこの二つ目の星です。結果して、
1:07:54	100メートル分散は、国外で耐性を持たせるで持たせられない、どうしようもないものがある場合には、相互分散を、
1:08:04	期待して機能を維持するというような繋がりになるのが、物語としてはベストかなということで、八条としては屋外の設計方針を述べているところに、
1:08:15	一律こういう100メートルの離隔というものは紐づけていこうかなというふうになら整理していたところでした。はい。以上です。
1:08:23	古作です。
1:08:26	設計思想としては言われる通りだろうなとは思いますが、
1:08:31	数なので屋外のキーのところであつて言われたんですけど、それはあれですかね先ほどの石原さんの話にも繋がるんですけど、
1:08:43	保管庫を100メートル離れた場所2設置しますと、
1:08:49	言うと、保管庫、
1:08:52	建屋で、
1:08:53	屋内に、
1:08:55	保管すんじゃないかって、
1:08:58	なりますが、そこはどういう関係になつてるかっていうと、
1:09:05	日本原電の瀬川ですちょっと失礼しました。えっとですね、その部分ちょっと
1:09:12	私の認識話させていただきますけれども、竜巻を例にしてお話をすると、
1:09:19	屋内にオクないっていうのは次、事故が発生する事故対象の建屋ですね。
1:09:26	屋内にSA設備するのは基本的に1円は保管してるんですけども、その保管先が建屋開口の影響を受けてしまって、

1:09:38	ちょっと飛来物が入ってくると、壊れる可能性があるという保管先が一部ございます。
1:09:45	そこに対しては、屋外の保管、これすなわち保管庫ですね。それも対処建屋から 100 メートル離れてますので、
1:09:56	その離れた保管コウにもう 1 円を保管しておくことで、機能を維持する、しますというのが、SAのイレギュラーな対応としてあります。
1:10:07	その設計へですね、36 条側で言えば、屋内に保管するSA設備は、DB設備、SA設備と異なる場所に保管するといったときに、1Nは建屋内に分散して保管しますし、
1:10:25	もう 1 点は、建屋ごと離れた保管庫に保管するという設計がそこで整理されるわけですが、この設計基準 8 条の設計方針のあて先どこにするんだと。
1:10:36	言ったときには、今の事例でいきますと、八条の、建屋に収納するんだけど開口の影響がある、防護対象設備に対する設計を述べている方針。
1:10:49	ここに紐づけるのがベストだろうということで、
1:10:52	今、そういった考え方でひもづけ整理して進めていったところでございます。以上です。
1:11:00	はい。コサクです。何となくイメージはわかりました。結局離隔なの片方だけの話をしても、
1:11:11	無理があるから、誰に対して、バックアップなのかということ踏まえるとその誰に対しての側の設計方針であってもいいだろうという、
1:11:22	古藤なのかなあと理解をしました。
1:11:29	見てみて、まずラッシュ明けで見れるということですので、それであればいいかなと。
1:11:38	いうふうに思います。
1:11:43	三つ目は、
1:11:48	日本原電の瀬川でついでなので私の方から話をさせていただきます。
1:11:54	衛藤。
1:11:56	えーとですね、常設SAというよりは、接続をちょっと例にして話すとしてごくイメージも、悩みが伝わりやすいかなと思うんですけども、再処理の場合、
1:12:06	接続孔は、すべからく建屋内に、
1:12:10	設置してます。うん。建屋内で位置的分散してますノロのように外壁についてるとかそういう概念はなくて、建屋の中で、相互に分散しているというのが実態でございます。

1:12:23	実際 36 条の設計方針を読むとですね、接続孔のその分散配置は、共通要因を考慮して、建屋内に分散して設計せいと。
1:12:34	いう方針になっておりまして、その共通要因としての自然現象とか人為上ですね自然現象もちょっと地震は別なんですけれども、基本的に外部衝撃系は、
1:12:46	建屋にしまうことでもって、その接続孔というのは、防護が図られてしまいますので、
1:12:57	そういう意味で、その接続孔同士の分散っていうものの設計を、外相のどの設計方針紐づけるのがベストなんだと。
1:13:07	考えるとですね、先ほどの竜巻のように、有効、その分散配置というのが有効に働く。
1:13:15	デービーの宛先がない。
1:13:17	ないんです、地震ぐらいしかないと。
1:13:20	いうので、悩んでは、これまだ現在進行中で悩んでるんですけど、とりあえずまず地震だけに紐付けようかと。
1:13:29	いうので今整理を進めてません。浅香です。
1:13:33	途中から大分ずれてきたなと思うんですけど、
1:13:39	ちょっと頭を、
1:13:41	理解をしてですね、そもそも何だっかってことを考えてもらったらいんですけど、
1:13:47	この要求はそんなに実用炉と変わなくて、
1:13:51	建屋内じゃないんですよ。
1:13:53	建屋の外のアクセスルートの話であって、
1:13:58	外部衝撃があったときに、大規模損壊でもいいんですけど、
1:14:04	進入しできる担保が取り切れないよねという古藤の再 2 でもできるようにどうするかといったら反対側は、
1:14:14	壊れない 100 メーター離隔と似てますけど、
1:14:17	さすがにこっち側から受けたやつ反対側大丈夫でしょうということで、そちら側にもとれるようにしましょうねっていう要求であって、
1:14:26	接続コウノそのものの防護っていうのはロアむき出しにしているからそこはこういうふうに設置しますよだけど、再処理の方は中に入れるのって壁で守られてます。その違いだけですから。
1:14:40	説明すべきは配置なんですね。
1:14:45	そう考えると、
1:14:48	地震じゃないんですよ。
1:14:51	地震の場合はもうちょっと細かくて、
1:14:55	ルートをどうとってますかそこはさ、耐震駅で守られてますか。

1:14:59	とかってやって、ナカノ、もうちょっと細かい配置をしなきゃ、議論しなきゃいけないと。
1:15:06	いうことなんですけど。
1:15:08	今言った話、外部衝撃関係でその配置という関係で言えば、
1:15:15	どちらかという、屋外 2、関連して、
1:15:21	いうことで、先ほどの二つ目
1:15:25	話だと、
1:15:26	開口部との関連という話で言われました。
1:15:35	なので、同じような形に入れるかどうかちょっと見てみないとわからないんですけど、
1:15:41	結局は外側で片方のものが使えなかった場合っていうのに対応してっていう発想ではその相手先がそのお互いの
1:15:50	接続コウだと。
1:15:52	いうことを考えながら対応いただければと思います。
1:15:59	ちょっとまだ悩みは残るかもしれないですけど、
1:16:03	日本原燃のシゲマスアノ、ありがとうございます承知いたしました。ちょっと、ちょっと筒井ついでというかあれですけども、2、二つ目の欲しいですね、この 100メートル離隔、
1:16:16	SA発生対象建屋と保管庫みたいな関係のコウユリ架空位置的分散の方針というのを、今ですね、これ先ほど説明しなかったんですけど、8条に紐づけるときに、代表として、
1:16:30	この分散効果が有効に発揮される、竜巻、
1:16:35	阿藤、航空機墜落火災、あと、航空機落下そのもの、この3事象に代表的に紐づけようと思っていました。うん。
1:16:45	この考え方っていうのは、
1:16:47	感覚的にいかがでしょう。他にも飾るとかもあるだろうと言われれば、その通りなんですけれども、伴ナカザワ根井、ちょっと無理があって、
1:16:59	中央ですからね。そう。後輩はそんな位置で変わる言うわけがなくて、
1:17:07	火砕物は、
1:17:09	逆にアノこない。
1:17:11	来たらそれこそもうどうしようもないで、
1:17:14	いう話ですから、
1:17:17	離隔の話するのは言われた竜巻と航空機でいいと思う
1:17:23	はい、わかりました。ありがとうございますそうするとやはり三つ目の接続小ウノ類もですね、概念的な二つ名のそういう
1:17:34	やはり分散の効果がありそうな竜巻だ、オク喜田といった部分を、
1:17:41	紐付け先の代表にしていくのかなというふうに、ちょっと、

1:17:46	考え、改めましたので、その方向でちょっと微調整したいと思います。と思いますが、えっとですね。
1:17:53	ちやいかんのですが、来週の前倒しにと言っていたところに対してですね、ちょっと一部方向性の転換がありますので、ちょっと中途半端なものが、場合によっては出る、いやそれがないように精一杯頑張りますけれども、
1:18:07	場合によってはということもあろうかと思います。すみません。はい。以上です。
1:18:20	書いて、だからこの番号そのまま
1:18:23	見ますよっていうのを書くと、いうことで多分何を考えてるかがわかるようになるよねっていうことの会話したので、そういうところで気ができるかどうか心配。
1:18:33	あ、コサクです。
1:18:35	方向性が確認できれば細かな文言なんかは、この後ブラッシュアップしていけばいいので、まずは現状を見させていただいてということでもいいかと思います。
1:18:47	竜巻が何せ最初のサンポだと思いますから、その点でも議論ができるということだと。
1:19:06	はい。
1:19:12	人のリーマン。
1:19:15	うん。うん。
1:19:17	はい。
1:19:18	じゃあ、3月5日
1:19:22	次、3ポツの、
1:19:29	まあ、開放しよう。
1:19:35	ましよう。
1:19:37	菅セキ講師兼、
1:19:40	の話が、
1:19:42	ちょっとさすがにショートすぎるかなって感じはしてるんですが、
1:19:46	松浦初めて話を聞く。
1:19:49	前の機会を、
1:19:50	何とかなんないかなとは思う。
1:19:56	安全なのでございます。そうですねおっしゃる通りですね。
1:20:02	26日に、介護資料案のヒアリングもあれなもんですからちょっとそこでもう、一緒2 その資料には入ってくるかなと思いつつ、

1:20:12	もうちょっとご説明しないとなかなかと思いながらちょっと入れちゃったんですけれども、コサクです。だからこそ、逆にもっと早く出せないのかっていうことじゃない。
1:20:22	私は思いますよね。
1:20:26	わあ、歯抜けでもいいからっていう。でもないんです。
1:20:33	うん。
1:20:35	こういう考え方
1:20:38	やるんですっていうのがその
1:20:40	先行でやっているところで、
1:20:42	評価するんで、そういうのがまず出てきておれば、ちょっと話がしますよ。
1:20:50	わかりまし。
1:20:54	等、工程の対象で
1:20:57	去年、
1:20:58	少なくとも 24 日前には出せるような、確認できないかちょっと調整させてください。ちょっと確約できません。可決したので、調整させていただいて、またちょっとご連絡差し上げるような形。
1:21:20	90%。
1:21:25	一つ、
1:21:31	コサクですスケジュールでいうと先ほどの関係での資料提示が集落にある。
1:21:38	いうこと。
1:21:40	なって、
1:21:42	合わせてちょっと話ありましたけど、24 日の資料提示というのもちょっと再考していただく。
1:21:48	いう。
1:21:51	はい。
1:21:55	河野。
1:22:06	はい。主、介護資料案については
1:22:11	小学校の方向では準備をされつつ、ちょっと状況を踏まえながら、
1:22:17	また
1:22:18	整理をしていってもらえればいいかなとは、
1:22:21	ます。
1:22:23	とにもかくにも多分あれですね、先ほどの話になった 26 日のヒアリングということかなと思いますけど、よろしく。
1:22:42	退避とか、
1:22:47	進め方を、こういう

1:22:49	で、昨日の交通についてをしなきゃいけないくて、
1:22:55	昨日の範囲の振り返りとあと、耐震の説明だけ聞いてるんで、実は、
1:23:01	まず、
1:23:02	再利用します。はい。イメージでございます。
1:23:15	もうなんか本文事項に関しては、
1:23:20	資料 4 からの資料二、三フィードバック
1:23:23	概ねを書きましたけどまだうまく提案できてないので、全体の枠組みとしてやり方だったり、どういうフィードバックをするかがわかるように、記載を充実、
1:23:34	あと資料 3 レベルアップ後に資料 3 も合わせて一応提示ということもありますんで、それは全体の進め方をどうしていくかというのは考え、
1:23:46	あと、本文でいきますと代表の考え方がまだうまく、
1:23:51	させない。
1:23:53	永井。
1:24:00	まあ、
1:24:08	あと、もう、
1:24:10	今日関係で、
1:24:15	説明、
1:24:17	違う。
1:24:20	これについてはシートが負けてない状態。
1:24:23	何をピークを受けるのかってのわかるように記載を、
1:24:26	拡充させていただくと。
1:24:28	お話。
1:24:33	無料のやつがやはりどうしても、6 日の話なんか取り出してるので、その全体どうやって説明していくかのシーケンスをちょっと考えないと、
1:24:42	このままではタテウチのままある。
1:24:44	現在のやり方撮影考えますと、
1:24:47	それも含めて法則との関係を整理して、
1:24:52	はい。
1:24:53	資料 4 の方は、評価項目一覧表が
1:24:58	整理をしましたけど、まだステップ 1 ステップ 2 って分けられたりするところの考え方ナカハタ
1:25:04	の整理、
1:25:06	これは本部にフィードバックもしないと。
1:25:10	ということとあと耐震のところは特に評価条件としながら場合の評価項目の内容があるんだけど、ここ
1:25:17	全体を整理して輪形状図っていくという

1:25:24	評価場合、パターン1の増益でざっと。
1:25:30	の話と風量かなという話ですね。これまずは、
1:25:34	不良の方は先ほどあった6人の関係で全体の枠組みを書きはしたんですけど、余りにも字がちっちゃいと、見込み、
1:25:43	体のバランスを考え、
1:25:45	あと全体像と今回やっている個別の負圧評価の関係を、
1:25:50	銀行、取らないけど、ちょっと、
1:25:53	余りにも断片的な話になる。
1:25:59	はい。あとは要領関係溶液イケダとかの医療関係は、
1:26:05	使っている容量とかの考え方とそれに関係する寸法との、
1:26:13	どう考えたのかという。
1:26:15	全体の考え方よりも自分で書けてないのでその整理をして、
1:26:21	はい。
1:26:26	0.25ですねモリ率の話、どっかの議論の話になりますけどこれを実際どうやって確認していくのかっていう試験とか、積算を示していく。
1:26:38	はい。
1:26:40	あとあったのは、扉関係ですね。
1:26:44	規格品でAAさんといっているんな寸法書いてましたけどあれがこれも全体の評価とのバランスで、
1:26:51	1個ずつ伸びを評価するのか、全体枠組みとして統一的な数字であるのか、その辺どう整理をしていなくて、
1:26:58	これは一旦今やってる評価に並べて、
1:27:01	どういう数字の使い方をしていくのかっていうのをちょっと見てみて、
1:27:04	全体の整理していく。
1:27:07	はい。
1:27:10	あと、
1:27:11	搬送の方は、もう一度ちゃんと行きたい。
1:27:15	はい。
1:27:16	それちょっとすいません我々わかじゃない、あんまり。
1:27:20	今してるので。はい。
1:27:22	まず、搬送設備として考える、対象の考え方、その全体をちゃんとできてVの設定それに対してどういう考えで、対象で選定していくのかということ。その、
1:27:35	人への安全の影響がないのどっちって規則と要求との関係ということ整理していく。
1:27:41	もう一度、
1:27:44	はい。

1:27:48	搬送 01 の個別の今の伴ソウノ谷津全体の整備、
1:28:00	閉じ込め 02 のポートボックスとかの開口部のやつ、作業との関係細かくちょっと書き過ぎで全体の枠が見えなかったと。
1:28:10	とか、いうのはちょっと整理をすると、資料 3 資料 4 との関係。
1:28:15	これも同じ個別で資料 3 資料に跨ってるやつですね。本当に
1:28:21	一つの補足でいいのかっていう先ほど整理の中でちゃんとするとそれぞれ、一緒にするにしても資料 3 に関係するところはどういう関係なのか、資料に関係するとどういう関係なんです。
1:28:32	いうことを整理していく。
1:28:34	それに伴って当然関係する添付書類との関係もエネルギー、
1:28:42	はい。
1:28:46	としては、
1:28:49	やはり評価に使ってる数字の考え方をちゃんと整理して、
1:28:56	古作ですけど、
1:28:59	ここ、個別ではなくてですね全体としてコメントしたこと累計、
1:29:06	ということ、或いはそれでの代表っていうこ等での説明の仕方っていうのを、しっかりと認識を変えていただきたいと。
1:29:16	いう。
1:29:17	所。
1:29:18	です。
1:29:20	評価方法も同じだった類型はもう一つでよくて、その中の条件をウノ互助っていうのを大前提で随契、これとこれとこれがありますと言ってもしようがないので、
1:29:35	そこはまとめる。あそこは先ほど Step1 にですね、とかっていうのと似てるんですけど、まとめた上で、
1:29:43	枝葉としてどこでどう枝葉がありますよという説明をするかと、というようなことをまずはまとめて欲しいと。
1:29:52	ということです。
1:29:58	結局は
1:30:00	耐震のところで話したんですよね、評価方法なりプロセスがはっきりしないと、そっから語りませんよねっていうのはその通りかなと。
1:30:09	思いますので、そのあたりをまずしっかりと押さえて、
1:30:15	代表をといたときに
1:30:18	ちゃんと
1:30:20	その代表が包含している範囲というものを念頭に置きながら、
1:30:27	具体的にどういう取り扱いをしていくのかっていう説明をしていくと。

1:30:32	その説明は、代表のものを例示でしっかりと上げて、具体がわかるように
1:30:38	ということをお願いします。先ほどの
1:30:44	藤。
1:30:47	漏えい1機能、話で言えば、
1:30:53	除外する。
1:30:55	ところの体積の求め方っていうの概念的にはしっかりと書いていただいているんですけど、具体どういうふうに捨てるっていうようなところがやっぱり見えなくて少し議論があったと。
1:31:05	ということだと思うので、そこは代表のもので例示をして、こういう形ですと。
1:31:12	来年的に説明したもので、その代表が埋まらないものは、他に、その部分での例示っていうのを入れてと。
1:31:22	いうふうにしていくと、概念だけじゃなく、確かにこういうふうにやっていけるので、
1:31:28	このものをこういうふうにやってくのねっていうのが、部隊がわかるということの詳細の説明まで進んだと。
1:31:36	ということになるので、その点での拡充をしていただければと。
1:31:43	で、そうすると、一色の表なんかは、説明項目でなくても、
1:31:50	いいですよ。
1:31:51	ということだと思います。
1:32:06	はい。
1:32:07	それでは、
1:32:10	残っていった耐震関係の、
1:32:14	共通順で言うと評価パターン、括弧サービスの
1:32:24	ちょっと全体的な構成とか、代表類型化みたいな。
1:32:32	290 ページから始まっています。
1:32:38	①、
1:32:42	まず聞き、
1:32:43	有限数として、
1:32:46	何か配管系っていうわけ。
1:32:50	これは実施設計、添付書類の基本方針の、でも、
1:32:56	動けない。そのラインに沿ってない。
1:33:02	それで 292 ページに、
1:33:07	耐震設計
1:33:11	ということで、今回の資料構成だと、
1:33:17	まず、記念で言うとしてん形でとか、

1:33:20	減容する。
1:33:21	二つ。
1:33:22	ありまして、
1:33:23	それでそれぞれに対して3ポツ1.2、あと3ポツ2行、それぞれ説明、
1:33:30	別々でします。
1:33:33	音声に行っているところを、
1:33:35	昨日の話を踏まえ、
1:33:37	ある程度まとめていくような、
1:33:48	日本原燃井戸です。
1:33:50	ですね
1:33:53	今の構成ですけれども、この3.1.2の解析モデルの設定条件の中 でも、
1:34:00	質点系モデルと有限要素、ちょっとまとめてという形で今整理して おります。
1:34:12	規制庁、丹治です。
1:34:15	はい。297ページ。はい。
1:34:22	における一緒。
1:34:24	昨日の話で292ページにあるプロセスですね、これ一つ一つが多分 どういう、
1:34:36	何でしょう、分類があるのかじゃないですけど、
1:34:39	代表として考えなきゃいけないものはどんなものがあるのか、って いうのを多分色って言って、それを、
1:34:45	全部網羅できる多分パターンを作っていくのかなと。
1:34:49	それは見れるものがあればそれをまた一つの代表として考えるみたい なことを、全体に渡してやらないといけないのかなと思っているんで そういう整理しようということで昨日話していたと。
1:35:01	それでいいよね。
1:35:06	はい。日本原燃井藤ですすみません。
1:35:09	そういった意味では今の構成ですと、294ページや196ページで、 この解析モデルに、すみません、解析する機器を挙げてますけども、
1:35:23	こちらについては1ポツの概要の後ぐらいに、維持であるということで、 まず整理したいと思います。それで、
1:35:34	質点系モデルと、はい。
1:35:38	よろしいですか。
1:35:43	あと質点系モデルと有限要素モデルで、解析モデルの設定条件と、 どういった方針で設定するのかというのを説明した上で、
1:35:55	最後に、

1:35:58	代表となる機器ですかね、それを、
1:36:01	整理するような形で、ちょっと構成を見直して考えております。
1:36:07	規制庁加茂ですよ。
1:36:09	297 ページの話がしやすいような気がするんですけど。
1:36:16	この一つのページにまして、連携という目要素でそれぞれ書いてある、一緒にやっているんです。
1:36:23	1 でしたけどそうじゃなくて、はい。
1:36:26	(1) 寸法の下に、
1:36:29	お互いの共通となる考え方がまず書いてあって、ちなみに弓削遊佐とこうしてませんし、冷却をしますっていうのが一緒に説明をしている。
1:36:41	だと思うんで、(1)野瀬何も書いてないっていうことがアノタケナカイソベ。
1:36:53	手違いがなければいけないわけ。
1:37:01	はい。日本原燃伊藤です。はい。わかりました。共通的な考え方というかモデルに関係なく、どういった形で寸法設定するっていうのは、まず。はい。
1:37:12	で、違いがある場合はそれがわかるようにということで、ちょっと記載、修正したいと思います。
1:37:23	次に 2、2、294 ページで、連携モデル場合、
1:37:34	ページ 109、
1:37:36	有限要素、
1:37:38	けど、100、
1:37:39	25 ページの最初の、
1:37:44	有限要素モデルのその構造が複雑になって、重量モデルが分散しているのがよくわかんなくて要は、どっちを選択するかっていう考え方が、
1:37:57	いまいちよくわからない概念としてはこうなのかもしれないんですけど、もうちょっとそうだよ。そうなると、
1:38:05	要は今回、グローブボックスがあり、横型ポンプが、横形パンかな。
1:38:12	二つしか実際はこの代表としては出てこなくてその下にいろいろ物があるわけですね、194 ページだとフィルタもいるし、制御盤もヒグチと。
1:38:25	一方で、有限要素モデルと 210 ページにあるように、プロボックスの中には、ランプ日が長いと、消火設備、
1:38:35	いう中で、これらは、そうかこれはこっちに分類されるんだってわかるような考え方なり、
1:38:42	見方の例示。
1:38:44	がちゃんと示されているので、ちょっとそこは補足をして欲しい。
1:38:52	セキ、クシダ以上はなんで決めてるJ-Rにもう、して式出てるやん。

1:39:00	それ以上にも何かありますか。
1:39:06	てのは、私からお答えします。
1:39:09	えっとですね、今度は、
1:39:13	モード解析が必要な、
1:39:15	もの、
1:39:16	表の方を変えて、
1:39:20	ので、今おっしゃったように、弱の中で、その定式で書いているものもあれば、式を別に展開せずに1点形で、やるっていう類のものもあるんですけども、基本そういう一次点検のモード解析が必要。
1:39:36	でないものっていうのは、これはここで書くところのあれですね。
1:39:47	運転経験までしてもですね。
1:39:49	で、モードが
1:39:51	ホデという言い方をしてこれはもう入りだろが、FMだろうが全部行ってます。
1:39:56	トビアスモデル
1:39:59	はい。
1:39:59	の規制庁がそのあたりが多分概念としては書きつつも具体が書かれて、そこまで書いてくると、麻生。
1:40:08	今、今ぐらいのことは、
1:40:12	代表になってないその下に含まれてるものが確かにここもJ-Rに書いてあるのは、これは何か、
1:40:19	わかって、
1:40:22	あと295ページ。
1:40:26	1点。
1:40:27	上から、
1:40:28	振動モードを適切に表現できるようにしてますっていうことを、
1:40:34	ここで言っているのだから、後のところで戻すだけ今回、
1:40:39	ついてるんですけど、
1:40:41	持たずタダアノ。
1:40:43	何だろう、5になるところまで貼り付けるんですよよじゃなくて、それは、
1:40:47	この適切に表現できているかを確認するためにつけていくっていうので、こういう視点で図見て妥当性を判断するんですよというところがちゃんと繋がります。
1:40:59	説明をしてもらえれば、プロセスこういうプロセスなんですけど、まず説明してもらおう。
1:41:08	はい。日本原燃伊藤です。はい、了解いたしました。
1:41:12	古作です。ちょっと類似するので、

1:41:17	この書類の書き方が、
1:41:19	先ほどの類型と寛解も含めてさ、或いはカミデが言ったことも踏まえて、よくわかってなくてですね、293 ページ。
1:41:30	左に
1:41:32	295 ページなんですけど、
1:41:35	これ何を説明してんのかなっていうのもわからんのですよ。
1:41:39	評価部位の基本的なパターンを説明してるような感じなんですけども、いや、もともとはモデルだよねと。
1:41:48	モデルと評価部位って何の関係があるのとかっていうのが、
1:41:52	飛んじやっているというか、
1:41:55	あつて、
1:41:56	それで言うと、
1:41:59	前段はがちっと書き足りてないのかなっていう気がするんですけど、こういうような評価をしてやっていく必要があるから、
1:42:07	こういう評価が必要ですよということで、先ほど野本さんが、もう導管がなくていい、抗体というか一体で動くようなものってのはまして形ですよということだと思うんですけど。
1:42:20	そこは、結局そういう構造だから、
1:42:25	す。それを、
1:42:27	その位置にとどめておくって意味では、
1:42:30	こういう評価でこの部分の評価をすればいい。
1:42:33	いうのが流れていくわけですよ。そういうストーリーをちゃんとここで書かないと行きな李ドイだなんだって限定で言ってもですね、多分話がわからないんだろう。
1:42:44	思いますので、先ほど言われたところを表現するにあたって、まず前段でしっかりそれを述べて、だから、こういうものは失点系で、こういうものは
1:42:54	有限要素でと。
1:42:56	ということで、わかるようにしていただければと。
1:42:59	ます。
1:43:01	そうするとそのナカ内数その服装に基づくと、こういうものがこういうところに入ってくるからその中で代表がこういうふうに、
1:43:10	一番、こういう特徴もあって、いろいろと説明する事項があるのでこれを代表しますよ。
1:43:17	いうふうに繋がっていくんだと思うのでエッセンス、所々には入ってるんですけど、部分的過ぎてですね、流れていかないので、その辺り拡充いただければと思います。

1:43:30	はい、日本原燃伊藤です。
1:43:32	293 ページから 296 ページなんですけれどもちょっと、
1:43:38	個別、ブーダンされてかかるようなところ、ちょっと記載をもう少し流れるように見直したいと思います。
1:43:51	規制庁。
1:43:52	んして評価部位っていうと、
1:43:57	今、
1:43:58	3 ページの一番下に、
1:44:01	ここは読み込ん
1:44:03	で、
1:44:04	部位の結果について、選定結果については、耐震建物内に、
1:44:11	確かに結果だけは作るべきですけど、
1:44:16	考え方はなくてですね、それは、
1:44:21	どっちでってよりもしこっちでも触りをしつつ、補足でもしっかり使用してもらおうということで、
1:44:31	が結構あります。キー
1:44:32	が早めに欲しい不足ではあるんですけど、どんなもんですか。
1:44:39	はい。日本原燃伊藤です。建物 01 については当然結果だけじゃなくて、その考え方も示しております。
1:44:49	こちら、ごめんなさい。第 1 回、1-3。
1:44:54	はい。私がちょっとちゃんと見てないからなんですけど、
1:44:58	カミデは新今野 01 では示していませんと言っていて、我々は受け取ってないという状況を伊藤さんは示してますと。
1:45:07	言い切っておられるんですけど、
1:45:10	そこはその認識そこがあるっていう認識は今とっての話をしようとしてるのか。
1:45:15	すれ違ってるのかどっちですか。
1:45:19	69 名。
1:45:21	すいません。ちょっと申し訳ございません間違えております
1:45:26	選定結果、考え方、きちんとしたもので、お出ししたいと思います。はい。元の方です。うち福地挟んでしまって申し訳ないんですけども、例えば、
1:45:38	評価部位の神経についての考え方等は、その選考なり、既往の結果等の類似性から漏れないですかっていう整理はしてると思うんですけども。
1:45:51	この構造や揺れ方に応じてこれが必要十分かみたいな説明は、これまで入れていないんだっていう理解してますけれども、それワーソヤ。

1:46:04	はい。日本原燃井藤です。その通りでございます。はい。そうですね。その辺りはちょっと確認しないといけない。そうですね。拡充するって言った時に、イメージがちゃんと合ってるかなというところなんですけど。
1:46:19	はい。建物 01 の中で、それぞれの設備に対して、各々この評価部位っていうのを、その比較を出してるんだけれども、
1:46:29	一つ一つ、これはこうだからこれはこうだからっていうのをムタグチと書いていくっていうより、おそらく今おっしゃってるのは、この今本のアノに 93 ページなりで A の考え方を書きなさいっておっしゃったじゃないですか。
1:46:43	それっちはい。この構造があって、ユリ型がこうだから、だからモデルがこうで評価部位はこうなりますっていうのもここで書き切るんですよ。
1:46:54	それを、このですね補足の方でも、と同じアイテムを入れて、それぞれの設備がどれにひもづくかっていうことを見せてやると、1 個 1 個説明するんだって何かそんなイメージのものを、
1:47:06	今お求めになられたっていいですか我々されないということになるのかなと思ったんですけども、イメージを持っていますかね。伊藤さん。
1:47:15	はい。
1:47:17	はい。その通り、考えてます
1:47:20	01 の方で、ちょっと個別に記載をしていきたいというふうに考えております。失礼いたしました。はい。
1:47:31	はい。
1:47:40	今小
1:47:49	会、
1:47:53	はい。
1:47:57	パターン
1:47:58	がいるのかな。
1:48:00	説明せなあかん。
1:48:03	細かい構造の話か第 3 回になる。
1:48:06	少なくとも
1:48:08	今回説明する範囲がどういう範囲なんっていうのは、明確にしないといけないと思います。
1:48:15	はい。生協から資料 1 は、全体的なわけですからそれに基づいて、はい。
1:48:22	さっきの進め方しようと。
1:48:26	グループ 3 に該当するやつは後のやつが、資料 3。
1:48:31	でないんだけど 4 では含めて説明するとちょっと経っちゃうか、復興局緩和率もそこまですると、

1:48:39	まず
1:48:43	明確にして、
1:48:46	ちなみに、今度 216 ページは今度いうゲームソフトですけど、
1:48:51	今回の対象で、
1:48:54	主排気機関とかはでも全体説明されたらいいのかなと。主配管だと 1.2 Ssが大分、
1:49:06	取り付くであろうグローブボックスに行って、2Ss
1:49:11	だから、どっかの範囲ではあるけど、あれどう。そんな説明聞く必要あるのかもしれないし今言ったみたいに、結局全体を、
1:49:22	通しての説明になるからわざわざ今回の範囲はここだけですよ。100 日の説明が要らないのか、どっちなんだろうなと思う。考えてたんですけど
1:49:31	どう思います。
1:49:32	全体の設計思想をちゃんと述べないといけない。
1:49:40	ITSSとそれ以外のところの境界の話とかですね、も含めた整理は少なくとも第 2 回の段階では、この 1.2Ssの範囲がどこまでかっているのも含めて、
1:49:52	する際には、あわせて、
1:49:55	そこは昨日もあの時点でも、宿題いただいていると。
1:50:00	全体整理をして、
1:50:04	はい。規制庁、大上です。で、あと、一応、
1:50:10	今回の説明の範囲だと、299 ページと黒ボックスが代表になりその下にあるラックピットタナオカ火災保護設備のシャッターみたいなものは、
1:50:24	このグローブボックスの説明でやり方ちゃんと説明できてますよって本をもってできてる資料なのか、まだそこまでではないんですっていう話なのかという、
1:50:34	そんなもんですか。
1:50:41	そうですねそういう意味でだから、あれですね、代表を決めて代表を説明するときに、代表にしなかったやつって一体どういう関係なんっていうのは全く、
1:50:52	相手にしないまま、その下のストーリーが進んでるので、そこをどうケアするかってのが、
1:50:58	多分、放管もそうですけど代表やんのはいいけど、代表が代表になっているのかも含めてどう説明するかっていうちょっと再考をちゃんとしないといけないかなと思ってます。はい。
1:51:08	はい。規制庁からさっき最初に言ったみたいに 214 ページもそうですけど全体共通する設計プロセスのがあり、それに従うとブロックの方で、
1:51:19	これも嘉門マエダは何とかっていうところ。

1:51:23	そこが共通したものが語られず、もうとにかくDだって自分一生懸命説明し、途中でコメントも受けてるから、あそこは一生懸命じゃない。
1:51:37	累計の中江元の中に入ってる者たちは、何か見せられておりますので、その構成というか、水戸枝葉みたいな。
1:51:48	意識して作ってもらえる。
1:51:52	ええ。
1:51:54	そうですね。私のところが今日お話をしたかったのはそれぐらいですとか配管のところでまたちょっと話ですけど、ロープだったりその基金までのところ、
1:52:04	あとイデも
1:52:06	コサクです。関連で、シャッターって、グローブボックスに取りつくんで、
1:52:13	の間というのも、
1:52:14	タカトリツツミますよね。
1:52:17	としたときに、耐震評価って一体ですか。
1:52:24	日本原燃伊東ですけども、はいグローボックス一体で評価しております。
1:52:29	はい。補足です。
1:52:31	シャッターっていうのは、
1:52:35	使用表としては、
1:52:43	耐火能力の話をしてない。
1:52:49	はい。そうすると仕様表複数のものを束ねて評価しますよっていう評価方針がないといけないのかな。
1:52:57	思うんですよね。はい。
1:52:59	そういうのは、取り込む場合はそういう話だし、
1:53:04	関連するっていう先ほどの配管みたいな、1.2Ss関係での配管みたいなところで言えば、トライイとしてこういうような扱いをしますよと。
1:53:14	ということでの話があると。
1:53:17	ということだと思うし、
1:53:20	そういった相互間、
1:53:22	の扱いっていうのは、最初に明確にしといてもらうという、
1:53:27	はい。
1:53:30	清長さんともう1点アノ野瀬疇津 337 ページとかですと、今回これで、
1:53:37	具体的にプロポ
1:53:40	さっき
1:53:41	他のなんか設備も含めての代表性。
1:53:46	あの、この資料で取り扱うこのグローボックスが、ほかにもいっぱいグローボックスさんで、

1:53:53	これでいいのかな、何でこれがいいのかっていうところでさっき今おっしゃったお話あったんですけどシャッター追いついてないやつなんだし、もっとでかいのもあれば思いもあるような気がするんだけど
1:54:05	これで一通り説明できるのかこれを中心に江田はこういう説明すれば全体をカバーできる
1:54:10	というところもまだ考え方がないので、そこ、
1:54:15	はい、与儀西原でございます。同じような資料、
1:54:21	おっしゃっていただいたように、機能間の、
1:54:24	風量のやつは、三名をまとめて、代表を決めたら代表に全部放り込んで、こういうモデルでやりますよみたいな説明をしてやっていたので、
1:54:35	大分違うので、そこは全体とは、
1:54:42	はい、お答えし、1点だけ、規制庁、丹ですけども、私の方から中身についてなんで来週24日にですね、目指すって、
1:54:52	あるということで、この資料は、
1:54:55	今回この290ページ以降、
1:54:58	はい。それで、昨日モニタリングで何か最新の補足を来週出しますっていう、
1:55:05	さっき01の話だった。
1:55:07	もう、
1:55:08	ほかに綺麗モデルナと10番で、
1:55:10	来週、
1:55:12	面談なりヒアリングの前に、はい、西井でございますこれ全体の最初にあった、次回の審査会合、
1:55:20	できないっていう話で全体スケジュール考える部分に合わせて考えます。はい。
1:55:26	とはいえ、ずっと出てないといけないので、それは、
1:55:32	はい。
1:55:33	はい、規制庁そしたらとりあえず24日は
1:55:39	以上です。
1:55:43	室次長勝オカノ。
1:55:45	井川でなければちょっと、はい。
1:55:50	構成ってよりも、構成の話はもう一緒なので、
1:55:54	配管とダクトな。
1:55:57	だと丸とか布田っていう違いがあるんだろう。
1:56:01	ありますけどその辺は同じような、
1:56:05	整理していただくんですけど、
1:56:08	392ページのところは、

1:56:13	僕アノて配管とダクトDてピッチなんですけども、モデルが違う。
1:56:18	ですね。
1:56:20	で、
1:56:21	何ですかっていうところなんですよ。
1:56:27	補足もでて、
1:56:30	出ているし、今回資料 2 の最後の方の分園てピジョン側あるんですけど、そこだと配管とダクトって一緒なんで、第 1 回の説明がほとんどで決まってるんですけど、かなりこんと。
1:56:45	この辺りはですね、能登さんワダ見たりとかしてないですよ。
1:56:50	そうです。
1:56:51	で、
1:56:53	もう端的に今あれですよ。この通算 3 点なんか、ワンスパン 2 点なんかの、ここでなんでって言ったら、多分関連でこうやってるだけだとは思わんんですけども、
1:57:03	ちょっと、そうであればそうであるといったようなところ考え方がわかるようにしてどちらにしても、だから逆とあと、配管配管で、これできちんと評価できるという判断をどういうふうにしてんのかということ、ちょっと書くのかなとは思いました。
1:57:19	はい、規制庁です。
1:57:21	補足に行くとその提言グラフいろいろ使ってるナカの妥当性の検証なんかもしてますけど、多分元のモデルが違うと、配管でやった、その妥当性検証をそのまま使えるかっていうと、
1:57:36	少なくとも説明は何だか必要なんで、そのあたりは、
1:57:42	ちゃんと示してもらってます。そういうものと一緒にちゃんと話を聞きたい。
1:57:49	393 ページも一緒なんか同様の方、
1:57:53	書いてるシマ解析コードも同じですって、本当は、
1:57:57	んですけどその辺、もう少し特に野元さんの知見で見ている。
1:58:06	周知しました。すいませんウェブの向こうで私ちょっと今把握してないんでこういうお答えしましたけどお答えできるんやったらお答えしてくださいね。
1:58:14	あ、すみません、日本原燃伊藤ですけども、さっきの配管の解析トヨタの解析モデルの違いということですけども慣例的にやってるというかジャグに
1:58:27	配管はツースパン 3 ページですけど、
1:58:30	A系サノってまだ 9 棟についてはこのワンスパン度が上がってましたので、それに基づいてやってるというのが実情でございます。

1:58:40	はい、藤岡です。
1:58:43	あれすか、全部見ればわかる話なんです。
1:58:46	考え方です。考え方までは、なぜ違うのかみたいなことは書いてないです。
1:58:52	なのでちょっと設計の思想を紐解いたというところを書くんだとすると、ちょっと検討を加えないといけないと思います。
1:59:04	今日は言ってます。
1:59:06	でもない。
1:59:11	はい、規制庁監事。
1:59:13	私の方からは、
1:59:15	阪神間共通 12 条ですけども、他大臣は、
1:59:25	はい。
1:59:27	特になければ、振り返りとかもできるっていう感じです。また来週もできますし、あとはその具体の補足の計画なんかは審査会合、
1:59:39	また、
1:59:46	すいませんコサクです。
1:59:48	今やる。
1:59:50	話でもないと思うんですけどモード図見えていてですね。
1:59:54	内装機器なりなんなんりの、
1:59:56	応答が大分影響してるように見えてですね。
2:00:01	その辺りってどう考えればいいのかなんていうのが、
2:00:05	よくわからなくて、
2:00:09	内装機器はあれですかね、それで損傷する等は、グローボックスの境界といった意味での波及影響を及ぼすから合わせて評価をしている。
2:00:20	D層合わせて評価をするときにはその視点での評価部位になるので、その揺れについての音を考える必要があると思えばいいんですかね。
2:00:32	はい。日本原燃の井藤です。内装機器、搬送財産なんかなんですけれども、容器を抱えてるといったことで、
2:00:43	ちょっとこういったモードで見ると、結構揺れてるように見えてきております。で、もちろん、これが壊れると、グローボックスの閉じ込めの波及影響がありますので、
2:00:56	こちらについても適切に評価して構造強度上問題ないということは確認しております。
2:01:03	店長が答えになってない。
2:01:10	だけれど、
2:01:12	一緒にモデル化しちゃって、やわらかいなりそう。
2:01:16	そのあと、家族、

2:01:18	ちゃうんだけど、それ全体にフレームにかかる分には保守で聞い
2:01:24	た話だし、リーズナブルにやっていますってことなのか、何か総合作用、一つの振動モードでやりたいから、
2:01:32	ていような細かい話は、来週の設定してるところでメーカーの方にも話聞きたいんです。
2:01:40	そうなので、そういうところ
2:01:42	でフォローできる方です。
2:01:48	はい。古作です。来週より具体についていことができると思いますので、先ほどどこまでを一体にして評価するのかっていようなことの話もしましたから、そういったのを一連お話ができればと思いますし、
2:02:03	まとめる等、いろんなものをまとめて評価をするということになると今でもその波及影響の関係なのか、当該機能、機能、
2:02:13	ことなのか、いろいろな項目がまじるので、
2:02:18	それぞれに応じた適切な評価を、
2:02:21	見ていく。
2:02:22	行かなきゃいけないということになるので、単純にごちゃませにして
2:02:28	キョウチ満足しますとかっていうのでは済まないんじゃないかなというふうに思ってます。また来週というか、
2:02:36	以上です。
2:02:39	はい。規制庁管です。他、
2:02:41	耐震教授あとは全体含めて、
2:02:48	特になければ保全は終わってそこはまたちょっと、
0:00:01	はい現象。
0:00:03	それは午前中に、
0:00:05	引き続き、午後は、
0:00:08	地盤モデルについて次回の会合での説明の仕方等ですが、経営自体、
0:00:16	まず規制庁側の出席者はオノキシノハバサキカミデ、遅れて長谷川管理官が、
0:00:26	です。それでは議事が出席者と、資料の説明をお願いします。
0:00:40	はい。日本原燃事務局の赤羽でございます。
0:00:43	はい。日本原燃の出席者紹介いたします。
0:00:47	ケツク。
0:00:49	ハセガワノモトWEBからの参加となりますが、六ヶ所医療、オガセ、
0:00:55	当然設計様、植野様。
0:00:58	以上 3、
0:01:00	加えまして、再処理の事務局さんとさせていただいてございます。以上 3ヶ所となります。よろしく申し上げます。

0:01:09	日本原燃の郷でございます。各自、
0:01:14	ご提出させていただきました。介護資料の骨子案でございますけれども、ご説明差し上げたいと思います。
0:01:22	今回ですね、ちょっと骨子ということで、ちょっとまだ最終案にはまだほど遠い状態ではあるんですけども、どういうアイテムを、
0:01:32	どういう順序でどういうしようとしているかといったようなところをご覧いただくという観点で、今回お持ちしているものでございます。ですね、ざっと全体の構成、考えているというところでご説明差し上げたいと思います。
0:01:48	ですね、2 ページ目のところは前回までの説明コウカセ、こういうことをご説明しますと、
0:01:53	いうところをお話したと思うんですけども、また今回説明ということで、このデータに基づく分析のところまで、これについて、
0:02:04	今回ご提示して、比木置き場の特徴をとらえた幾何構造について、今回お示しいたしますというのがここでシバていうことだというふうに考えてございます。
0:02:15	ですね、次のページからです。
0:02:17	データ 1 個 1 個。
0:02:20	ですね取得として追加で説明しないといけないとか、岩石コウ試験の結果とそれから、PPSソウノ内アノ水測定がまだの状態にございません。それはとります。
0:02:33	というようなところが、絶対追加になったところと、いうことでそこをですね 3 ページのページ以降を説明していくというようなことになるかと思っております。
0:02:43	5 ページ目からが信頼性の確認のところなんですけれども、このページですね、今ちょっと我々の例を見ながらですね、
0:02:54	ちょっと書いておるところといいますのは、前回これすべてのデータについてのヒラタの確認フルセットで出ていたんですけども今回追加データっていうそのPS検層の部分とそれから、
0:03:07	岩石コアの部分だけのちょっと心配しております。私もここちょっと大事な話でもあるので、ちょっとフルセットに出した方がいいのかどうかというのを少し我々もちょっと考えながらやってるところでございます。
0:03:19	でですね、
0:03:21	データの適用は、そのあとですね、13 ページまで説明いたしまして、
0:03:27	最もですね、今回、
0:03:32	収集主眼になるといいますか、モリイまでがこう読むデータ分析のところでございます、これが 15 ページ以降でございます。で、16 ページがこ

	れ周辺グループの分析で、業務、こういう形で結果を出しておりましたけれども、
0:03:50	教育事務局ですね他のゴコウアノシミズ 12 グループを付けていくことで Aグループは比較的この製造の構成の
0:04:00	大井までございましたから比較的、スマホな分析として、これ現金化して差し支えないといったような分析でございましたけれども、衛藤、USP 目以降ですねこれ、AAF施設周辺とかですと、
0:04:15	時間ののところで、断層が存在してるものですかカジタニモデルは従前お示ししているような構成でございますけれども、そういうところが逐一これは入ってくるような、
0:04:27	シートをつけていくといったようなところかというふうに考えてございます。今後かなりちょっとボリュームが出るかなというふうに考えているところでございます。
0:04:36	で、とですね、19 ページからが非正規のところでございますこれは、
0:04:43	タマウチとテライってデータ入れておりませんが、ちょっとそのデータを出していくといったようなところかなというふうに考えてございまして、傾向としてはですね、今、
0:04:53	水試験の新しい結果をもとにやり直しおりますけれども、従前の追加試験前のデータでやっていた時とですね、傾向はほとんど変わりませんので結論は、特に変わるもんじゃ。
0:05:07	ございません。それからですね、21 ページからの減衰定数のところは、ここですね、新たに追加するところになります、22 ページの下のところが施工試験、
0:05:19	のところがですね、今ちょっと箱一つだけつけておりますけれども、ここですね、受けてきたデータの内容と、それからそれに対する見解をちょっと加えたいというふうに考えているところでございます。
0:05:33	で、前回とどういうところもですねこれちょっとフルでちょっとお示ししないといけないかなというところで、23 から 26、
0:05:43	のところまでは、
0:05:46	基本、同じベースのデータをご提示してございまして、27 ページ。
0:05:52	事業と行動で、この是正検査検層について内野アノ都築になりますけれども、このですね、
0:06:02	この減衰のその各手法によってられた減衰定数について既往の知見の整合を踏まえて、この分析等がここで述べたいと。
0:06:14	ということ、それからアノ大井に満足いたした減衰定数の設定の考え方というのを、ここで丁寧にちょっと述べないといけないかなというふう

	に感じて考えております。まだちょっとそれかけてなくてこういうふうな こういうことをやりたいと。
0:06:28	ようと言っているだけになってるのは、申し訳ありません。
0:06:31	とですね、話の中身といたしましては 08Gでもちょっと
0:06:37	なところでもあるんですけども、
0:06:40	これ、ここの代表 3 セイノアノ減衰として、オクならば、エザワ検層の すねそれぞれの地盤が属するグループのところでの、
0:06:51	えさ計算のデータからですね、周波数依存を持つ形で設定する、タケノ 欠席をする設計するといったところが、これを置けるんじゃないかといっ たところに、これは話を、
0:07:07	をまとめようというようなイメージでやってございます。
0:07:11	29 ページ 30 ページが表層でございまして前回 90 センチ埋戻しを拝借 してございましたけれども、ここの N5 年のところここで、これ追加規定の 結果を踏まえたデータミヨシがございましてこれはそれを踏まえた、
0:07:26	内容に入れない部分といいますか、改めて我々の見解を述べる必要が あるというふうに思っております。
0:07:33	それから、流動化処理増のところはですね、今回、それに相当するよう な基盤のところを引用しなきゃいけないので、ここの分析にも変えていく と。
0:07:44	というようなところでございまして、その結果を、31 ページ、分析、31 ペー ジ 35 ページというところで、藤金の 12Eグループに対して、
0:07:56	そこのデータがこうなりましたというところの総括を入れないというふう に考えてございます。
0:08:03	その結果ですね 34 ページからですね、データの分析、また敷地の地盤 の特徴をとらえた地盤構造ということで、前回はこの周辺グループの
0:08:15	今日もですね、検討中というのがいっぱい入ってるものだったんですけ ども今回それをですね、すべて含めた形でご提示するのかなと思ってお りまして、これですね全グループについて、ご提示するといったようなこ とで考えてございます。
0:08:30	で、36 ページのところ今後に対応のところございまして、これもちょ っと我々も悩みながらちょっと非常に簡単なことしか書いてないんです けども、
0:08:41	今後の展望といたしまして、江藤関を切る呉地盤モデルを作成するにあ たつての検討項目検討方針ということで、我々の考え方としまして、
0:08:53	その具体的には、大変設計を行っていくのに使うということ弊社におき まして、開発プログラムの制限及び設計の合理性を考慮して困って、技 術域として、

0:09:05	一般的に広く用いられている周波数一定の減衰値というのを設計では用いていきたいという設計での配慮事項ということのPポツ地盤までの設計範囲として、
0:09:15	ここまでは、as-isとしてまとめてきたところではございますけれども速度構造に改めて並べてみた時に類似性が見られるグループについて、
0:09:25	ある程度1まとまりへと検討を設計段階では、できるかと、いうふうなところをこれ変えていきたいというふうにご考えているところでございます。ここそういうことをやって参りたいと。
0:09:38	いうマーケットの方向性について述べているものでございます。
0:09:41	そういう検討を行った暁にはですね、各グループにおいて、この前段できておりました幾何構造モデル、アビルの地下構造モデルとの応答スペクトル等による確認を実施しまして、
0:09:56	設計として適用する上での合理性というのを確認していくというようなこういう検討をやって参るという方向性を、ちょっとここで書かせていただいております。
0:10:08	その上で設計に用いる地盤モデルの作成をいたしまして、入力地震動の算定結果といったようなところにつなげていくと、というような流れをここでは記載しているところでございます。
0:10:20	37ページ以降は、AとDたで、リサーチをですね、
0:10:27	採取したデータについてまとめているものでございまして、前回の会合の時にはですね、それぞれのDたAとAA拒否のデータが、
0:10:38	相当するということをちょっとシートで書いたりしてたんですけども、ちょっとかなりそこまで入れるとですね全体の構造は、わかりにくくなるということもありまして、
0:10:49	先ほどお示しておりました9ページから13ページまでの表で、どのデータがどの地盤に相当するかという紐付けは、一応読み取れる形にはしてございますのでこれと、一番後ろ、参照する形でどこかわかる形で、
0:11:05	ご覧いただくと言ったような形でちょっとここは構成を動かしたというところでございます。
0:11:12	簡単ではございますけどもご説明は以上でございます。
0:11:20	えっと、
0:11:22	単純に言葉の確認だけ最初にしちゃいたいんですけど、
0:11:27	36ページで、
0:11:31	①番で、設計のうち、基本地盤モデルの
0:11:39	考え方みたいな、
0:11:43	これは、
0:11:45	午前中の進め方資料でいうと、次回審査会合で行っている。

0:11:51	基本地盤モデル作成に必要な検討項目。
0:11:57	及び検討に対応している。
0:12:01	前の方でございます。はい。検討結果に相当するところがちょっと②番の前半のところに対応しているような形になってございます。
0:12:12	前、規制庁、ちょっと、
0:12:15	いまいち対一になってない感じがするんで進め方資料で今後説明しますってということとあと、会合資料で今後っていうのが 1.1 になってるんだ、これいつ出てくる。
0:12:27	あ、設計ですよろしく申し上げます。承知いたしました。はい。どうぞ。
0:12:33	規制。
0:12:39	規制庁のハセガワです昨日もらった。
0:12:42	その資料で年、
0:12:47	12 月 2、
0:12:49	委員、審査会合をやってそのあと、こういう部分ってちょっとねみたいな話を、そのあとにしたんだけど、そういう結果が全く踏まえられて、
0:13:00	いないんじゃないかっていう基本的に、まず、
0:13:04	ここ。
0:13:05	最初の段階のところをちゃんとやってもらいたいの、まず、ページの 9 から 13 年かけて、
0:13:13	なんだけど、
0:13:17	これ前回の、
0:13:18	これ会合で、
0:13:20	部分で、
0:13:22	そこでだから例えば周辺は、このデータを使ってあります。
0:13:28	てな、なってるわけだよね。
0:13:30	だからそれについての、
0:13:33	データ整理が、
0:13:34	いるわけですよ。
0:13:38	なのに、
0:13:39	後ろの方行っちゃうと、何か技全部がまざったりするんで、
0:13:45	さっき一井の
0:13:49	何だっけ、何かの確認でも使ったんだけど、多分こっからまずサッキウから 13- で用いるとしたデータに沿って、まず、
0:14:02	第 1 段目は整理すると。
0:14:05	いうことになると思うんだよね。そうすると実際には 16 ページからだよね。
0:14:11	16 ページのところからの、

0:14:14	構成というのが多分こんな感じで、
0:14:18	今言ってるのと、
0:14:21	4 ポツのデータ分析っていうのが全体、これ、これやりますよと言ってる ときに、次に4 ポツの1つてやつがいて、
0:14:30	仮にね。
0:14:32	そこが周辺グループなんだよね。
0:14:35	ここ全体を対して、
0:14:37	9 ページの
0:14:40	沿って、
0:14:42	でもこれ書いてあるからね、9 ペソって岩盤の皆さんで言うAぽつの岩 盤物性、Bの非線形し、
0:14:51	CはC-1 から5 まであるわけですよ。そして、Dがあるんですね。
0:14:57	ここはここの中に、今言った中に入れれるのは、ページ9 で用いるとし たデータしか入れない。
0:15:08	ね。でも、例えばさね。
0:15:11	衛藤。
0:15:16	何て言うのかな、この25 ページ辺りにCポツに、
0:15:21	ちゃうんだけど、各グループを含む敷地全体というさなんかここでさ、用 いるとして、データじゃないものがいっぱいまざり。
0:15:30	てるでしょ。
0:15:32	ね。だからさ、写真ページ9 から13 っって何だったのと、最初の計画通 り、まずやりましょうよと。
0:15:40	で、このね、
0:15:42	4 ポツ、仮に4 ポツ1 とする周辺グループから、最後の飯野まとめって いう、皆さんっていうABCでつけるってそうですよね。
0:15:52	多分そのまとめっていうのが、この32 ページ。
0:15:57	Aのまとめなんですね、Aのまとめには、同様に当然のことながら、提示 級で用いるとしたデータ以外は入り込まないと。
0:16:08	ていうことでこれ掛ける12 なんだよね。これをまずきちっと整理すると。
0:16:15	ということなんではないですかと。
0:16:22	日比野でございます。
0:16:24	そうですねはい。
0:16:25	でね、いやそうなんでそれは実は12 月からカネナリbyからずっと言っ てるんだよ。
0:16:33	なので、
0:16:34	質問は、
0:16:36	何で違ったものが、

0:16:39	2の整理をしようとしちゃってるんですかっていう。
0:16:44	秋野でございます。はい。
0:16:47	ちょっと結果として違った形になってしまってるのは、
0:16:51	そうですね。
0:16:53	そのAだけで一気に通貫でやっぱりちゃんと筋通さないといけないっていうところの認識は我々も持っています。いて、まとめ方として、ちょっとそれぞれの項目で、
0:17:05	あれですね、衛藤データは、Aから24までそれで、次の分析またAから事業までみたいな方向性にちょっとやってしまったたびに、見かけ上、ちょっと
0:17:16	ちゃんと一気ツガネになってないっておっしゃるなおアノヒラモトるかと思えますので、ちょっとそこは構成で説明をしたいというふうに思います。以上でよろしいでしょうか。いや、だからそういうことってないんだよね。
0:17:29	だからそんなマインドになってそれがチェックできてない。皆さんはなぜこうなってるんだっていう、
0:17:36	だから、時間がかかるんで、
0:17:40	何をチェックしたんですかっていうことで、
0:17:45	音でチェックしたところじゃないんだよねそれを指示してるんだよ、もう半分ですねはい。
0:17:51	日本ミヤクス審査会合の中でもちょっと私、そういう、
0:17:55	管理官のご指摘でちょっと変な整理が今回、前回のやり方になっているというような、同意しておきながら、私もチェックできておりませんでした。私がすいませんサポートアトベケットクオオヤネムラカミを知ってる知らないではないんだよ。
0:18:09	単純にね、丁寧にね、一つ一つ丁寧に順を追ってねそのプロセスをしっかりしましょうというだけなんだよね。
0:18:23	皆さんがやりたいとしてる、例えば、AとC5のS波検層は、この辺までまとめてもいいんじゃないかと。
0:18:33	ていうのは、
0:18:35	その次のステップでそれぞれ見たら、例えばこのね、32ページの、
0:18:42	2みたいなものが12枚できるわけですよ。
0:18:47	ね、これを並べてみたらね、例えばAの物性値のデータっていうのはかなり似てるよねっていうことになるわけだよ。
0:18:59	ね。そうするとこの物性値についてね、考察っていうことだよ。他のグループとの関係っていうのがね。
0:19:09	そこはだから今度議論だよ。
0:19:13	結果的に随分類似してますと。

0:19:16	その類似してるのは、これこれこういうちゃんと科学的な根拠。
0:19:23	が、
0:19:25	あるんですよ。これはもうね、地層の層序も一緒だし、層厚も一緒だしね。当然の結果になるよねと。
0:19:34	そうするとこれをまとめて、
0:19:36	こないだ言ったようにね、データの数が多いほうが平均的な話としてはいいわけだから、これはまとめて、
0:19:45	一緒のものとして、
0:19:47	ていう。
0:19:47	いうことになる話かそういうのが一つ一つのA、BなりC案、
0:19:53	ね。
0:19:54	なり、CスミダC&CⅢまだ相変わらず別なんだよね。
0:19:59	そうやってやって少しずつやっていくんだよね。
0:20:03	そういうのがあると、今度は9ページから13ページに、もう1回戻るわけですよ。
0:20:11	そうすると用いるデータっていうのが増えてくるわけだよね。ええ。
0:20:16	ところに今までね、三つ四つしか入ってなかったのが、
0:20:20	10個20個になったり、
0:20:22	もう1回やればいいんでそれはさ、ずっと繰り返していくわけですよ。
0:20:28	そういうことが、
0:20:32	わかりやすい。
0:20:34	いいでしょ。はい。
0:20:36	でね。
0:20:40	だから何かそういうね、プロセスを、
0:20:43	辿ってって欲しいんだよね。
0:20:50	まずだから、
0:20:52	この話、Dとして12個を
0:20:56	ね、9から、
0:20:58	ページの9から13で用いるとしたものだけで、
0:21:03	個別に中にまずまとめるっていうんですね、ここについてはさ、ほぼね、岩石コアの試験とか見てないけど他のものは見ていて、ある程度、
0:21:14	ていうことになるでしょ。
0:21:16	ね。それはもう事実でしかないから、あんまり議論ないんだよね。
0:21:21	でもそこまではちゃんと整理つきましたっていうことにはなるから、
0:21:26	ね。
0:21:28	その部分はよしになるよね。

0:21:30	ね。そうすると次にこれがまとめられるまとめられないみたいなデータがね、そこが今度議論でね。
0:21:39	何か明確だよね。
0:21:41	ステップがね。
0:21:47	それを何度も繰り返すとだんだんだんだんまとまってくるわけじゃないですか。
0:21:55	だからそういうふうには、
0:22:00	それはこれ、中身の問題じゃないじゃん。中身は技術的な人たちがねちゃんと根拠がこうだから、
0:22:07	やっぱり同じになるよね。たまたま一緒ってやつと、
0:22:11	これたまたま一緒っていうやつケースと、それがある。
0:22:16	要は、今日、科学的な根拠を持ったものは、
0:22:21	取り扱い違うよね。
0:22:29	そういうそこそこ、それがだから、僕らが言う、
0:22:33	丁寧にプロセスをもってってということなんですよ。
0:22:40	うん。
0:22:42	まずそこまで野元さんいい。
0:22:46	現在ございます。はい。
0:22:48	これ先方は、
0:22:51	簡単なね。
0:22:55	うん。
0:22:58	今おっしゃったように、その通りでこれまでもちょっと議論させていただいたらいいかと思ってます
0:23:05	ちょっとそこでは、我々のですね試験も患者様と相談しながら、逆に悩みながらちょっとやっているとっていうのは、
0:23:12	今おっしゃっていただいた他、データをまず並べて、一緒だと、いう根拠も含めて一緒だと見えるところ。
0:23:23	データの母集団をふやして、またフィードバックかけてっていう、そういうサイクルっていうのは、
0:23:28	これどういう形でできるんだろうかっていう形。
0:23:32	これを、松下。はい。またさっきのはなCしてるのね野元さんが、
0:23:39	まず、
0:23:40	野本さんは、また未来の話をしてそこまでわかりましたかっていう、いうところの、はい。
0:23:48	花強い。
0:23:51	をしたい。

0:23:52	今管理官のおっしゃっていただいたかなり後半の部分までは細かくて、まず 12 グループ使えるデータを明確にして麻生層中にですね。はい。
0:24:06	データ、これ使いますと、ウエダこれ直下ないしはその周辺のデータを使ってやりますっていうのが、9 から 13 回やってこれは我々もコミットしてるわけですよ、一定のね。
0:24:19	それで作って自由に作った上でのですねその結果をちゃんとやる。だからここはすごい機械的に割とできるところなので、
0:24:28	何かそれほど議論はないわけまだ見てないデータあるけどね。
0:24:34	そのうちに、そのまとめは高本さんはそのさっきの話をしてるのよ、まず 10 日がわかったかと言われたから、
0:24:43	ここまでをまずちゃんとね、2 月 5 日は最低限これなんですね、次の審査会合時にはここまでが入りますよっていう
0:24:54	ことだよね。
0:24:56	そこはいいですか。うん。はい。はい、萩野でございます。はい。理解いたしました。
0:25:01	すいません。規制庁、
0:25:04	12 コウ作っていくっていうときに、
0:25:08	競争はどういうふうにまとまっていくんですか。
0:25:11	もともとのですねさっき言った、9 ページから 13 ページのメーターの整理のときに、ここで競争についてはその
0:25:23	2 番が、その梅本指導のものなのか重要な処理のものなのかっていう整理を残しておりますので、それに沿った整理になるというふうに考えてございます。
0:25:35	規制庁深見ですけどね。
0:25:38	競争は者が、
0:25:40	障地を人工物みたいなものだとか。はい。ただ、近くのやつを持ってくるんじゃないで、埋戻し動の集団流動化処理の集団みたいな集団に、
0:25:51	まず分けられるでしょうというわけ分けられることは、ちゃんと説明するんだからということで 12 個にあった方の時には、競争については埋戻増という補償移動みたいな
0:26:03	これぐらいの大きな集団ではめ込んでいくっていうことです。
0:26:06	その通りでございます。
0:26:13	うん。やはり、いずれにしろ、9 から 13 で用いるとしたデータの範囲内で、まずはちゃんとまとめると。
0:26:22	いうことだよね。
0:26:25	で、次に 2 月 5 日、
0:26:29	その先の話、

0:26:31	しますかしませんか。
0:26:38	でも今度はね。データがまとめられるかもしれないという議論をスルーしますかしませんか。はい。
0:26:50	1 ニシタニメニューの話だよね。まずメニューの話は中身じゃないよね。はい。うん。
0:26:57	もうもう、次回審査会合の話だけだからさ、ね。
0:27:03	うん。
0:27:04	メニュー的に原燃は入れる。
0:27:07	入れるのであれば、この後、
0:27:10	もうちょっとその話をした方が、
0:27:12	しれ入れたいと思う。
0:27:14	今、36 ページ、もう少し書いてるんですけども、類似性が見られるグループについての集約を、検討を試みたいということを、今ちょっと書いております。うん。はい。
0:27:27	いや、これを2月5日にするか。
0:27:29	2月5日にはそういう検討を試みて参りますということを言うとよそ様に駄目だと私は思ってるデータ使わないよね。
0:27:38	データ使ってこれが集約できますっていう話まで、やるのはこれは次の断面っていう、
0:27:45	認識も思っていたんですけども、
0:27:48	へえてねっていう、今ってさっきちょっとわかったことをやらなきゃやらないってことだよね。今の話はやらないっていうことだというふうには私は思っておりました。
0:27:59	うん。それで、鳥栖、3月までに、はい。なりの次、2月の後半だよね。はい。3月までに、
0:28:09	何か皆さんの的には、入力地震動のとは形まで出すっていうことになってるよね。
0:28:18	で大丈夫なんですか。
0:28:21	当然でございます。そういうことで言うと、3月5日の次の会合のときにはさっき言った集約の話と、それから下水なんかは一定減衰でも使いたいというのはそれはそう。はい。
0:28:35	そのデータの話ではなくて、今度はもうちょっと大きな枠組みで言うとね、この地盤モデルの整理っていう話とね。
0:28:45	解析モデルっていう世界は、またそこがね、全然違うんだよね。はい。
0:28:53	だからもう地盤モデルはもうね、から12個コウですよっていう、

0:28:58	いうね、中にもABとかACがみんな一緒に、でしたみたいな、結果的にあるかもしれないけれども。うん。別にそれは粗相だよ。そっから最後ね、次に解析モデルっていうのは別にあるわけですよ。
0:29:12	だから、今、集約をね2月の末に、実を上げてってことですけども、ちょっとライブの話で申し訳ない。年末に行っていくと。
0:29:20	それはそこそこで終わってしまって、設計に用いるやつが3月末になってしまう。
0:29:26	私の頭の中で、すいません私の中では、そういう集約ができますねの検討をやりますんで、さっき言った次の段階としてのモデルとして、一定限使いというようなことも踏まえて、
0:29:39	基本基盤モデル、それが今日地盤モデルを使うための検討だとは思ってるんですけども、これを踏まえて基本地盤モデルをこういうふうに作りました。作った結果自身のコマツこももう一気通貫で、
0:29:51	もう大井ヤマモト3マツノだから次一つでもアウトになった瞬間に、どこに戻るかつつたら、2月5日の次の会合に全部戻ってきますよ。
0:30:07	2月5日カーの会合っていうのが、極めて中重要。
0:30:12	になってくる。だから、もうここ、
0:30:15	2月の頭の会合っていうのは、単にこれまでのデータ整理で終わるっていうだけ。
0:30:21	長崎だよ。あるしね。
0:30:25	でもあれなんすけど、これも集落まで12枚できたものも、
0:30:30	似てますねっていう考察。
0:30:33	いらないんですか。それは入れるんですねますは言いますけれどもちやえっと、
0:30:40	あとですね、ミイタカキ見てるから、これだけ集約できますねまではちょっと難しいといえますか、結局ですね。
0:30:54	似てるというのにも、2種類あって、速度構造として、もうほぼ一緒ですよ。慣習も農協会なんか見ても、一緒ですよっていうものと、それから大戸スベントダテカセたら、どっちも同じような結果与えますよねって言うてるこの2種類が、
0:31:11	これを分けて考えなくちゃいけなくてということなんだとは思ってるんですけども。
0:31:16	ぜひ、
0:31:20	いや、そこもね。はい。大戸副大臣と、例えば月のステップの、いや、じゃあねとりあえず
0:31:30	まず、中にちゃんと整理をしますっていうところは置いといてもいいとして、次に、一つ一つ確認すると、岩盤同士の物性値。

0:31:41	ていうのはね。今、32 ページを見ながらやりましょうかと。
0:31:47	で、ここに出てるデータなんだよね。
0:31:50	これが 12 個あるわけですよ。
0:31:52	ね。
0:31:54	こういった見見たときに、
0:31:56	2 市ほかとね、12 枚で、
0:32:01	これ一緒っぽいよね。うんとかってやる。
0:32:05	はい。その他はあんまり関係ないんですね。
0:32:10	ていうことになるよね。じゃあ、その 2 てる。
0:32:13	ね、今言った、見て得るからね、まとめた方がいいんじゃないかみたいなまとめられるんじゃないかって言った時の、
0:32:23	その根拠なんだよね。
0:32:25	ていうのが、そこでは示されるっていう
0:32:29	必要があるんですよ。
0:32:35	その今言った根拠っていうのが、
0:32:41	この 2 番の構造の類似性、それから何か応答スペクトルとかっていうそういうことなの。
0:32:50	ですね、イエスかな。
0:32:55	アンドウということ言えば Yes ですんでただその、今おっしゃった二つはやっぱり分ける必要があるよねっていう神様の業務フローの話なんだねだからそう分ける必要があるとかないとかっていうのは皆さんの内々の議論なんだよね。
0:33:13	はい。ね。だからね、皆さんのね、原燃としての総意として、根拠をね、の中の、
0:33:23	どうですか、一緒なんですか、違うのかなあ一緒なのかなってやってる内数でしかないんじゃないの。
0:33:33	ね。
0:33:36	そうですね。類似性と音がその根拠となってそれアノを一緒の値で両方が一緒だからとかですね、そういうのは別に違っても別にいいとかっていうのは、それはだから我々との今度ね、議論なんですよ。
0:33:49	原電としての間ね。
0:33:51	そう。はい。
0:33:53	だからそれはね。
0:33:56	そういうのが必要ですよ。だからそこが重要だから、だからそういうところが議論なんだよね。そうですね。はい。
0:34:02	ね。

0:34:05	ノモトは今、2月5日は1020日、これは出せるんですかっていうことだよね。そこまでは出せないんで、それ、そういうことをやっていきたいという宣言だけで終わる。
0:34:16	そうですねそういうふうに思っていたというのはもうちょっと
0:34:24	でもさ、結果が出ちゃってるんですね。
0:34:27	だからね、例えばね、全部じゃなくても、あると思うのね。はい。衛藤。
0:34:37	井清が見られるグループについての集約検討上だから、これが何かっていうことは、2月5日の時点で、何かそれっぽいこと言わなくていいんですか。
0:34:47	言わなかったんで、だから、何かよくわからんけど集約できそうだねぐらいまでは、少なくとも2月号に飛ばないところ、次が見れる。
0:35:00	これこれはどういう意味なのかということですかね。
0:35:05	はい。それははい。
0:35:07	12のデータだけで止まると次に繋がらないんだね。なんかねいろいろやっぱ詰まってないんだよね。話がね、わかってきたでしょ。
0:35:17	次に、そういうのがあって、この非線形性っていうのも同じように、
0:35:24	ね。
0:35:27	こいつを見たときにどうなんですかってね。
0:35:30	ネットで、ここ、
0:35:33	こんだけある戸高1235。
0:35:36	2がねえな。
0:35:38	B。
0:35:39	椎野ニッタやツガネ、コウ一緒ね。とりあえず23567。うん。
0:35:45	ね、それぞれにあるわけですよ。
0:35:51	まずはね。
0:35:53	ね。で、それぞれで、1個か2個できるやつあるので、現にやっちゃってんじゃない、こんなのね。はい。
0:36:00	15時間でしょ、それ。
0:36:03	何かこういうのはできるよねとか、
0:36:06	なるでしょうな。できるのかわかんないけど、
0:36:10	音で、これ面白いからね、これはもう三つしかないからこれやりようがないんだよ。
0:36:16	やりようがないっていうか、これやるんだとしたら、中央と認識が一緒だよねとかっていうだけだけど、これ干渉法は中央しかないの、
0:36:26	こいつはもうね、何もできないんで、
0:36:30	まずね、
0:36:33	わかるでしょ。うん。はい。ただ減衰の部分って面白いのが、

0:36:38	現世は五つあるので、まず 1 個ずつが。うん。
0:36:42	こうなっていくわけだよね。
0:36:44	そうすると次に、こいつらのまた組み合わせの、
0:36:48	で見ていきますみたいなのが当然出てくるんだよね。それはさらにその次のステップであってそうやってね、中呉ていってわかります。
0:36:58	だから最後幾つに、
0:37:00	集約されますってそのステップを踏んでそのプロセス、説明のプロセスが重要で、そうすると根拠が一つ一つしっかりしていくから、
0:37:12	ね。
0:37:13	おのずとさ、導かれていくわけですよ。
0:37:21	ですねもうちょっと言うんだからここである種の、この 9 から何だか、
0:37:29	13、いつも戻るんだけど、
0:37:32	次に、9、5、
0:37:36	ここに戻るとするじゃないですか、悪いね。
0:37:39	今、周辺ね、周辺、これだけしかないよねデータがね、この辺のデータが入ってくるよね。うん。
0:37:47	ね。
0:37:48	で、こいつもこの辺のデータとかが、仮に入ってくるとするじゃない。そしたら、こいつもう 1 回だけ、結局作るんだよ。うん。
0:38:00	飯野補佐。
0:38:01	もう 1 回ね。
0:38:04	もう 1 回ここに戻るわけですよ。こういうのが一緒だよって考察なりね、根拠を示して、まあそうだよねって言ったらすね、ここに戻ってきて、戻ってきてまた同じプロセスを、
0:38:16	たどるわけですよ。今度は 12 までなくて少ない枚数ですけども、その枚数は 4 角と。
0:38:24	いや枚数は 12 名、
0:38:30	12 のうち、たまたまこいつとこいつが一緒だとかってあるだけではなくてね、これ一緒なんで、中央しかねえやつとかさ、医師とかしかないやつはみんな同じことやってるけど、結局、キタハラね。
0:38:43	結果的に 12 なんだけど、AとFが、この列が全く一緒だったら、これ。
0:38:52	ね。
0:38:54	なんかそこはだからさ、ね、12、12 行全部で今日はだから常に 12 でやっていくってことですよ。
0:39:02	実質的にね、17 日 8 なのかっていう世界は存在するよ。
0:39:08	なんだけど常に 12 月では、

0:39:15	そのデータのベースが常に中であって、うん。1個最終的には常に踏みながら、うん。なんかこう集約していくと。うん。
0:39:25	うん。積み上げのステップですね。
0:39:32	うんあの話が先走るって言えないかもしれないんですけども、ちょっと一つ、今この話の中でだったらいい。うん。一つ、
0:39:41	ちょっと主、ちょっと集約の仕方を考えなきゃいけないなと思っていたのは今、エザワ件数をこういう形で各エリアでのデータで、この表はまとめてはいるんですけども、
0:39:54	この分析の断面になったときには、ご承知の通り、西条ヒガシで今までこう集約をした形で、物流して、勝手にやってただけでしょ。
0:40:04	そうですね。はい。うん。なんですけども、
0:40:07	これ、
0:40:09	この、例えば1コウのデータだけで例えばこの後の衛藤角谷シミュレーションやるのかっていうと、なんかそうなのかなと、減衰のありようとしてそうなのかなとはいえ、ちょっと違うような気がしますので、一応このここに来い。
0:40:25	クマガイカネダって最初、
0:40:28	全部作り直したそうですね。
0:40:30	それ、そういう方向はジンノでもそうしたら、これとこれデータ一緒だとか、今までの基本路線から全部そこにバックすると、うん。
0:40:41	だから前から言ってるんだよ。
0:40:44	とかあなたたちはさ、全体のさ、ね、データを使いたいのか、
0:40:50	ていうのが最初っからはっきりしてないじゃん。だからこうやってやっていくしかないんだよ。うん。
0:40:58	じゃいじゃいいよ。だから1個は1個でやるんだよ。それで、最初に決めたんだから。
0:41:05	これは、
0:41:06	ばらしてますでしょ。うん。1個しかおらんでしょ。うん。でもアノエザワ検層のこの1個のカーブだけでこの後の分析はしてないんですよこれ認識オオヒガシ集約したもので、分析してるんで。
0:41:19	分析問題なった結果を載せるだけなんだよ。うん。
0:41:25	うんじゃサイトウのことを変えればいい結果なんだよ。
0:41:30	だから4ポツがデータの分析って書いてるからいけなくて、
0:41:36	単に取得したデータのまとめでしかないってことですよ。
0:41:41	中に出すんだそうですね。はい。

0:41:45	準備もそうだと思います。そのあとのまとめのところでは、いろいろ考察が入って、金本さんね、いつも最終結果なんだけど、いや我々もわかってるよっていうそういうものをもっとね、まとめられるっていう、
0:41:59	だからプロセスをちゃんと踏まないと、9 から 13 を何で作ったのそれ。
0:42:07	9 ページから 13 ページはどういう意味を持つんですか。土佐。
0:42:11	ここは技術としてのた。
0:42:14	が、こういう平成 10 年のデータだったら事実をちゃんとまとめてくれよって言うてるわけじゃない。
0:42:21	だから、
0:42:22	何か言ってることを土佐やろうとしてることに、そこに全体的に矛盾が生じてんだよ。
0:42:29	いや、これ、別に 1 個イセ言うてない。今、今の今の減損やり方を別にオオイワれてないから。うん。なるほど、その減衰はいろんな条件があって、西ヒガシ中でやってしまってるんで、
0:42:43	いや、それはそれで別に今、NG出されてないから、いやこんなデータにはならない。
0:42:48	1 個しかだったら 1 個しかないんだよね。
0:42:52	ね、規制じゃないですけど、それで、
0:42:54	伝達関数だったらシミュレーションを各グループごと 1 個ずつ件数でやれ、
0:42:58	やれってやり方もありますよ。うん。うん。そこまで必要ですか。人がやるべき。今でも彼が言ってるのは、まず、
0:43:05	グループの減衰は、
0:43:08	防衛下がったらこうなっております。日本でも、
0:43:12	そこまでですよ。それはそれでそこまでの傾向と、次のステップは、その傾向と隣のグループのこのもう一本見せるか似てないかをまず見ましょうと言ってるのは何か、一緒に。
0:43:24	してもいいんじゃないのかというだけです。それを使ってまた、
0:43:28	伝達関数のシミュレーションやれっていう話ではないからそうそんなことない。さっき和田が言ったね、ここの話はSRSSケースのね。
0:43:39	結果しかさ、ここに載せないって伝達関数もへったくれもない。伝達出すね、ここも変わらないんだよ。
0:43:46	ここも変わらないんだよ。
0:43:49	それが 1 本 1 本、
0:43:51	仲本佐古はさ三つしかない。
0:43:54	全体でここだって地震観測記録を用いた同定は三つしかないんですよ。地震は干渉法は、結果的に中央 1 個しかないんですよ。

0:44:04	これはしゃあないですね。でしょ。うん。うん。だから、野元さんの言う伝達関数は、S波検層に伝達関数はないんだよね。
0:44:15	S波検層エザワ検層の結果でしかない。
0:44:18	ここはだから各地盤の対応するデータだけがここは載ってくる。始める前からずっとそれがこれでわかったのかって言って全然わかってない。はい、わかりました。いやだから、野本さんはどんだんさっきの話を、
0:44:33	前に持ってきてるから話がいつも混乱してるとね。だからそういうことをやらないと最後ね、伝達関数のね、総合的なものっていうのは、
0:44:43	もっとずっと先だぜ。
0:44:47	そういう意味で言うと、
0:44:49	次の会合でまとめる話までするのかということ、ナカセというテライヤスタ、ここ1本ずつで書きますでしょ。日本に帰って、
0:44:59	これ、似てるよねの議論を、データの裏面で似てるような議論を、今回やらないといけないうことを意味してるんだらうと思います。そう。そう。
0:45:14	そういうものに、
0:45:15	はい。
0:45:18	だから、結果それイエスノーまでは行かんでも、こういうことをやっていて、いややっていて、次に示したい、次回示したいというところまでを持っていかないと、
0:45:28	繋がるのは別にそこは別に、それだけでもいいけどね。
0:45:33	はい。
0:45:34	趣旨はわかりました。はい。
0:45:36	出るから進められそうっていうところまで、
0:45:40	そこをまとめて、こいつらはまとめられますねというところまで私たち今回お示しなきゃいけない値だったんですもう本当にいいですよ。
0:45:50	でも、少なくともこのえさ件数のデータでも結果が出てこないとその次のステップはなかなかあれだけどね。
0:46:00	考えてこいよぐらい言っていただかないと、次に繋がるってことですかね。ただ、いずれにしろ、そのままいくと、
0:46:10	あと、
0:46:11	第三課、年度末に、例えばある程度一定程度の
0:46:16	間で進めたいんであれば、
0:46:20	自治会っていうのが相当重いよね。
0:46:28	なんかこれ振替から始まるみたい
0:46:32	んだ結局根拠がちゃんと示せるかどうかっていう、だからそこは技術的なところなんだよね。

0:46:40	そこが全部決まっていけないと。
0:46:44	その先にはいけないんだよね。
0:46:51	結局そういうことで、地盤モデルをね、各々の中に、グループの地盤モデル、
0:46:57	ていうのがこうだよねと、たまたまだから例えばAAの周辺っていうのはね。みんな同じEに結果的になるかもしれない。
0:47:07	ていうだけだよね。
0:47:09	うん。
0:47:12	それは当然使うデータが一緒なんだから一緒じゃん。
0:47:16	説明する必要がなくていいじゃん。その前に1個1個ちゃんと丁寧にやっています。
0:47:27	野本さんのやり方っていうのは、1度2いろいろなものをまぜこぜにして、
0:47:32	ね、これでいいでしょってやる方式なんだよね。
0:47:38	多分ね。
0:47:40	もうマインドがそうなるんだよねすいません。いや鳥飼シバタすみません申し訳ない。でも、
0:47:45	もう前から言うように、これでもともと原燃がDたが、持ってるデータを全部使わないでいい加減に入れただけでやるというところから始めて、そのね、
0:47:58	プロセスに信頼性っていうのを、今重点になってるんですよ。
0:48:06	だからその丁寧さっていうのは、必要後腕すよねと。
0:48:21	徳田
0:48:23	マツオハヤタコウコウツカベテラダ予定作業日、10日間で42までそうですね幾つあって、その次の表を、
0:48:33	我々今回やっぱりやる必要があって、こうやってまとめたものを横に並べたときに、こいつら類似ですねというのをもう1一つ、次の断面の説明を、
0:48:44	を入れて、それを踏まえると、でもそれはね。はい。
0:48:50	今度、これだけだよ。
0:48:52	そうだよその枠組みから外れちゃ駄目よねそっちとこいつがみたいにいよいよいいけど、それは1個終わった後に、次にこいつとこいつだからね、それをおオカえそのケアの集約の検討も加味した上で、
0:49:07	この地盤の構造を反映したアリマモデル。
0:49:10	イシドイアノコウノウチヤマ遠いからそれよう。
0:49:16	では、今回、
0:49:21	今お話作りまして、いや今私も何も、後に、

0:49:26	そもそもぜひあり、どこまでヒアリングができるかによるんですけども、我々は12枚はできるのは、これはお約束事項だと思ってますんで、それをまとめるところまでいくのかどうかまとめ方のクライテリアとか、
0:49:39	あるんでそれはまだヒアリングも議論もできてないので、審査会合で一発っちゅうわけにいかない。
0:49:44	ので、私のイメージはこういうことで、うん。
0:49:48	次回会合までに集約してもらってご説明しますの何か宣言っていうかな、次はこういうことすっていうのか、ノモトにそこまで、その会合にかけたら、それはCEO別にね、我々もある程度言ってる、データも見てる。
0:50:05	んし、こういう中にもね、いっぱい入ってるし、08のデータの中にも入ってるからデータそのものは出てるから、ちゃんと根拠を
0:50:14	ね、収集してくれれば、ある程度、議論はしても差し支えはないとそれ持ち帰って、そこでもそれをやるんだったら、
0:50:25	ね、もうあと2週間の中でね、確認はし、しないといけないから、杉井まで1回海成水曜日がよくわかんないけど、ちゃんと出してね。
0:50:37	うん。でも少なくともまず12、
0:50:40	コウエミそろえて出してもらわないと、その話には進めないのよ。
0:50:46	まず、今回は、すいません、今のこの、今日ご指摘いただいた整理で12グループ出すところまでは、審査会合資料として出してその後どうするかは中でも議論して、どこまで、
0:50:59	議論できるかも含めてもう一度、
0:51:01	お話しすべきだと思います。まずは、12行、きっちり、今日いただいた整理方法で整理しますと、それをまとめるものをどんどんまとめていって最終的に、
0:51:12	地盤モデル、
0:51:14	各々の地盤モデルっていうのはこんなイメージだよっていうのがあると。その時に、多分減衰なんかは、
0:51:22	ね、もう五つなくて、
0:51:25	減衰という、
0:51:28	ことになると思う。
0:51:31	ぜひ、それを今度1コガ1個できるでしょう系は、こんなような地盤。
0:51:38	んの構造をしてるんだよねっていうふうに、何か作るでしょ。そしたら、この一対一でそいつをモデル化するわけですよ。
0:51:52	わかるでしょ。
0:51:53	ね。
0:51:56	すごい構造で、考え方の構造は単純でしょ。

0:52:03	結局ね、
0:52:04	解析モデルっていうのは、主盤ね、構造イメージがあるわけだよ。
0:52:11	そういった数値解析でやるからね。要は一対一なのよ。
0:52:16	ね。
0:52:20	だから、まとめて最終的な地盤。
0:52:24	んの構造、の、
0:52:28	直下って、こんなイメージだよっていうのに、どうやって、
0:52:32	を持ってくって、
0:52:35	それがだから、2月5日の段階でどれだけできるのかなって。
0:52:41	と、ちょっとね、
0:52:43	ここでいきます中には出た必要ですけど、
0:52:46	そっから先は少し内部でもちゃんとどこができてきて、
0:52:52	次がかなりの裾野、最終的にこのデータを全部、
0:52:59	どうだって、
0:53:04	だから、これ簡単なんでそんなことしないで、10人を全部別物として、それで、
0:53:11	第1対応させていく。
0:53:13	余れん。
0:53:17	減衰のところなんかは、おそらく集約できてくるっていうのはもう、もうこれは見えるし、これもそれに基づいたもうシミュレーションもやって、
0:53:29	こう積み上げてってことなんで、できるだけそこに提供したらね、そういうことをすでにやってるってことは一定の根拠を持って先に進んでるんでしょ。だからそういう整理すればいいんでだからそういう大事なことを我々説明しない。
0:53:44	でいいような雰囲気になってる自体が、そもそもだからこうですね、こういう審査という中での重要ポイント。
0:53:53	ていうのをこういうふう考えていけば、もうちょっと出てくるじゃない。
0:53:56	それが理解されてないっていうことだよ。
0:54:01	それをこれからやりますみたいなこと言っているとね、根拠もないのに先走って解析とかいっぱいやっちゃってんじゃねえのって、だから無駄だって言ってるんだよ。
0:54:13	だから、手順を、はい。
0:54:16	ちゃんと踏んでないでいろんなことやってるんだよ。
0:54:20	それは原燃の中でもね。
0:54:25	ちょっと減衰のところ農村Steeringチームは、それを、
0:54:31	ね。
0:54:32	もう見てないといけないんだよ。はい。

0:54:36	観測記録がムラカミシラガトモダカネナリてしまうような話は、中身知らなくても、
0:54:44	手順という呉中では十分理解できるはずだと思います
0:54:55	だから、全然見てない、見てもらいます。それが起きてしまいます。
0:55:02	でも何十回も言ってるんだよね。
0:55:05	言葉をね。
0:55:09	もらったでしょ。はい。
0:55:13	全然難しい話であります。
0:55:16	補正ぐらいかかる。
0:55:19	これをずっと、
0:55:20	繰り返し、
0:55:22	その中で繰り返して俺は、
0:55:24	説明は繰り返した結果でいいんだけど、もちろんね。
0:55:32	はい。先ほど研究としては、
0:55:36	これ、
0:55:38	あとはちょっと衛藤次回の会合データとしては、
0:55:45	まずまだ報告していない結果の話ですよね研修でいうと、7 ページ。
0:55:52	8 ページ。
0:55:54	これまず報告あります。
0:55:57	どの程度の文章になるのかわかんないんですけども、
0:56:01	あまりここで報告する必要ないかなと思ってますけどねそれが一つ。それと、
0:56:06	12 グループ全部の直下の地盤構造ですね、現状に応じて、地盤工等のまとめということで、4 ポチの内容が、はい。
0:56:17	9 ページ以降の項目ごとに、
0:56:19	出てくるということで最後にですね、4 ポチのまとめとしては、1 ページで手をもちろんあって、いいとして、いや、こっちのまとめで、さっきの、
0:56:30	30、
0:56:34	例えば、
0:56:36	Aグループと、
0:56:39	32 と 34 までですよ。
0:56:41	あそこはね 34 までで、
0:56:43	これが一つの 2 グループのまとめでこれが 10 人。
0:56:48	最終的に 10 から 30 ですね、32。
0:56:53	三田さん、そういう認識でいいんですか。
0:56:55	その上で、

0:56:58	どちらかというとそれで分は出揃ったということで、もうこっち、まさにデータ の分析なんかんなってるんですけど、
0:57:06	12 グループの各要素が出てきたものを、じゃあ、
0:57:10	今後どうするんだという話ですよ。文章だったら、
0:57:14	そこに心地の話が、
0:57:16	もし入ってはいるんですけど、どこに入る。
0:57:19	オオクボ生だけなのか。
0:57:22	こんなでいいけたらいいんですけど、みたいですけど
0:57:24	シラがないと思いますので、それは次回はその三本柱は、こっちができる としたという理解でいいですかね。一緒に解析とこまでやってるから。
0:57:36	そこまでできないとおかしいんだけどね。専門家の議論もある、ありまして やっていただいているので、少し、
0:57:44	そことも相談して、そこは決めてください。はい。はい。
0:57:55	SOX情報。
0:57:57	中身の確認。
0:58:02	規制庁、菅関川事件。
0:58:05	はい。午前中も、
0:58:08	この話で少し見直すんだという話がありました。
0:58:13	見直しを、
0:58:19	の下でございます。
0:58:22	岩石コアの試験で、今網野り本訴
0:58:31	こつと言われるとですね、資料のスペクトルで取っているスペック表でや ったものが、ちょっとデータですね支給範囲外じゃないかっていうのは 米田。
0:58:45	それとは別にですね、パス対策っていうのは系の単独のもので、取るやり 方っていうのはこれまでも 08 に入れながらやり方はちょっと、
0:58:57	なんですけども、このファーストぐらいの方のえーとですね、対応する ときの中でも黄色係数ですね、これは 1970 年代の
0:59:12	ちょっと海外のですね、文献聞いているのがもともとあったんですけど も、基本的には電中研の佐藤さんが検討されてる数値っていうのと 2 種類ございます。
0:59:21	我々最初ですねこのサトウさんの数字を用いて、この分析をしていたと ころだったんですけども、我々の結果をちょっとその曲サトウさんに見 ていただいて、ちょっとご覧いただいたら、我々のような 7 サイトだつたら ば、そのサトウさんのスズキよりも

0:59:39	以前の基本の文献データの方が、数値を用いるべきなんじゃないかというアドバイスいただきました。それをもとに、今、データの分析をし直しをしてございます。
0:59:48	で、もうちょっとそのコウデータですね見通しのところまでも申し上げますと、見直し前も見直し後もですね、やはりですねかなり大きめの減衰値が出ております。
1:00:03	とで、
1:00:05	これをですね、この手法自体は、ある意味、確立されたですね標準的な費用というのではなくてある意味その文献でちょっとこういうやり方っていうのでトライアルでやられてるほど、
1:00:17	我々持ってきたものではあるんですけども、この数字はこの数字で、やり方としてはこのものだというふうに受けとめたらいいのか、ちょっと高齢が我々何がサイトでやるときにこれ、データの、
1:00:31	信頼性という意味で、もう一つちょっと薄めで見ないといけないデータなのかといったようなところを、少しちょっとその結果をですね、富田ところで、考察を加えてちょっとこれをまとめていきたいというふうに考えてございます。
1:00:44	以上でございます。はい。すみません。
1:00:47	江藤部会のヒアリングの時に、何か供試体の寸法がというような話もあったんだけど、そういった試験の方法だとか、試験の成立性とかいう問題ではなく、
1:00:59	られたデータを適切に処理をすれば、どうやっ適切な結果が出られそうだと。
1:01:05	そういうふうに今説明聞いてます。それをもってます萩野でございます。
1:01:10	東電設計の方でございます。
1:01:14	よろしいですか。はい。
1:01:17	今の件でございますが、前回私がですね申しました供試体の大きさですとか、あとその市新進藤氏ですね、それについてはですねサトウさんの方はこれでも大丈夫ですという安里さんといえますか
1:01:32	有識者の方はですねこれでも大丈夫だと、いうふうなことをですねおっしゃっていただきました。ただですねこれ自体が機械的にですね、通常の試験基準の標準の試験みたくやるものじゃなくてですね、
1:01:44	何度も何度もですね繰り返しながら、波をとっていくという方法でやるのが筋なので、こういう多様なものをですね、こういう短時間でやるっていうのは、これに対応するのは難しいですねっていうふうなお話をしてました。

1:01:59	あとですね、今回の先ほど野本さんの方からお話があったんですけども、他、ライフタイムの方なんですけども、我々の解析にですねサトウ指揮所地球を使ってたんですけども、
1:02:12	どうもサトウの式をですね鋼板対象にしてるということで、そのサトウの式よりもですね、ランドインスタンスたイシイっていう式がですねありましてそれはもう少しやら買い物まで適用できるという、
1:02:23	ので、そっちの方法を使った方がいいというふうなアドバイスをいただきました。で、その結果も合わせてですね、今し大至急ですね、その分析をですね、し直しております、出た段階で、
1:02:36	この来た第一担当の方につきましてはですねご紹介できるかと思っております。もう一つですねエースとるスペクトスペクトル比の方なんですけど、
1:02:46	実際に我々アルミをですねリファレンスにしてやってたんですけども、そのアルミ等、今回のですね、我々の鷹架層のですね、最近が大き過ぎてまして、
1:02:58	見ていただいたところをその波の中にですね、二次三次という波の反射が入ってきてるというふうなことです。でですね、
1:03:08	コメントいただきました。それで、我々が今まで取ってたときよりももう少し違う位置で取った方がいいというふうなことのアドバイスももらってるので、その整理もですね、今避難をしております。
1:03:19	それも早急にですね整理をして、来週にでもですねご紹介できればというふうなことで進めております以上です。
1:03:30	高いものをもらわないと
1:03:38	大体概ねわかってる。
1:03:40	詳細はまた来週ご説明したい。
1:03:44	能登でございます。今の話ちょっと補足させていただきますと午前中の進め方部屋で、他社でも08の、このグラフィックを含めたものの本日は止められないかというお話いただいております。
1:03:58	ちょっとこれですね、ちょっと調整いただきまして24日ちょっと1日も早くならなかったんですけども、24日にお出しさしていただくという方向で、
1:04:11	変更させていただきたいというふうに考えてございます。以上でございます。
1:04:20	はい。
1:04:23	ちょっと私からの成長、
1:04:28	36 ページで、
1:04:33	①の二つ目のポツで、
1:04:36	ここで後藤スペクトル等による確認ってあるじゃないですか。

1:04:41	だから、一応何だろう。今回、12グループが、現状こんな感じっていうことに対して、
1:04:49	浪岡沓名。
1:04:52	下の方でございます。衛藤。この2月5日の断面では、活火山三森です。はい。井清10分です。うん。時期はいつだった。
1:05:06	案件の方でございます。はい。通す、そういう意味では書くつもりでありましてそれをもとに、この設計用の基本地盤モデルの妥当性の議論をしていく必要があるというふうに考えてございます。
1:05:18	はい、規制庁で、一方で、さっきまでの話だと、4ポツになるのか、
1:05:25	モデルを並べて、
1:05:28	似てるねえ。
1:05:29	似てないねっていう話をしようかな。
1:05:33	そこのアウトプットは一緒にならなくていい。
1:05:36	似てるよねのネタっていいですか、根拠として、応答スペクトルっていうのもありえてちょっとそこもですね、社内で示さしてください。
1:05:47	ホテルに何をを使うのか。
1:05:48	いいことだと思うんですけど。
1:05:50	うん。
1:05:51	整理がちょっと1個後でこれが出てくるのに、最初の4ポツでは、波は関係なくて、モデルの
1:06:00	条件だけでいいですよ、判断するっていうのは、
1:06:03	ていう感じもちょっとしました。
1:06:06	出野でございます。おそらくですね
1:06:10	そう書くパラメータが2点もあるか。
1:06:14	減衰が、状態では書けない。関係ない。だからパネット全部最終値でやるものと、東京の検討でやるものはちょっと条件が変わってくることもあるかなというふうに思ってます。
1:06:27	間宮で書けない。
1:06:33	あとは、
1:06:35	体的なところで一応前回会合再掲で、赤字っていうか前回、
1:06:41	何か変更部分オオニシくださいというんですけど、赤字は、
1:06:46	もともと赤字を使っちゃってからちょっとセンスが悪くて、
1:06:50	工夫いたします。はい、河成もあれなんだけどね。
1:06:53	うん。
1:06:55	浦上岡島にする教室なんですけどそこは体裁としてはもう少しブラッシュアップしていきます。
1:07:05	はい、規制庁サッカー治療に関してですか。

1:07:13	ダイゴ資料案としては、
1:07:16	必要あり。
1:07:22	手順とですね、今予定の会合の資料のヒアリング
1:07:27	しろ提出さ、
1:07:31	25日をさせていただいて、
1:07:34	そこに入れたいというふうに思います。
1:07:40	だからもうそういう意味ではもうないってことで、
1:07:46	何かね。野本さん。
1:07:49	檀K架空をさ。はい。
1:07:52	毎回人に何か言われてあれじゃなくて、せっかく、
1:07:56	的にやしないと。
1:07:57	あと何回、我々と、
1:08:00	やってヒアリングにやって、海軍望むんですかっていう、はい。
1:08:06	なんかそうそういうのと、実際できるのと、
1:08:10	ちゃんとう、
1:08:11	やってない。
1:08:14	今の予定です。ちょうど25日に、だからさ、予定がさ今日変わっちゃったわけじゃん。そうですね。はい。カナダだからね、そういうふうに、安易にっていう高さそれ予定はもともと計画しててやろうとしてたことと、
1:08:30	今日の話で変わったわけだよね。だからなんでそういうのを踏まえて、ちゃんと考えないで、予定通りにしようとするのかっていうところで、
1:08:42	ちょっと中で、安楽須賀ですちょっと中であれですね。うん。まず資料の構成考えて、はい。うん。
1:08:49	やらしてもらいます。ちゃんと5日にシマダハダね、どこまでをちゃんと議論すべきかとか、それがいいんだよ。もともと。はい。
1:08:59	もともとだったんすね。はい。どこまでこうやっていく。
1:09:02	ね。
1:09:03	ていうのをちゃんと持たないとすね、目標設定。
1:09:09	をしないといけないんだよね。はい。
1:09:13	してないよね。
1:09:15	だよ。すごいいい加減なのよ。緻密にやってもらいたいそれはSteeringチーム、
1:09:22	大まかにさ、ね、何かその辺のカーブが上がってるわけじゃないんだよね。
1:09:29	ちょっときちっと積み上げるように、はい。設定して積み上げるようにした。ちょっとやっぱりね、甘セキだよ。
1:09:35	終わらないじゃん。

1:09:37	いいけど、
1:09:38	我々、絶対それなのにいろんなこと言っちゃってるじゃん、いろんなことやってるっていうことはね。ちゃんと根拠を持ってやってるわけだから、
1:09:48	ね。だったら説明してくださいよっていうだけだよな。
1:09:53	になるでしょう。
1:09:54	だけどこれもプロセスの我々のね、審査上のプロセスの確認なわけですよ。
1:10:01	いろんなことやってる。うん。それはちゃんと科学的にちゃんと根拠もね、何を積み上げてやってるのか、そもそもね、イケイケでやってるのかっていうのでは、
1:10:11	それもそういうのもさ、C3 内田からね。はい。
1:10:25	はい。ということではい。はい。ありがとうございました。
1:10:29	でしょ。
1:10:30	進め、
1:10:32	スケジュールっていう意味だと、23085、
1:10:37	出ますが、はい。
1:10:41	今、優先順位として、
1:10:43	08 版に使うかっていうところあってですね、今言ったみたいに、介護のブラッシュアップを、そうですね。そして、
1:10:52	ということだと、ここに売り上げじゃなくても一緒。しかもこれは片落ちだし、
1:10:57	タテカセコウ。
1:11:02	はい。うん。
1:11:04	会合が審査がババなわけだから、そこに出すメニューがあるよね。それに対する、
1:11:11	細かい根拠のデータとかっていうのが多分ね、現状の 08 の位置付けなんだよね。
1:11:20	そうです。
1:11:21	なんかそういうふうにして、
1:11:24	別じゃないんだよね。
1:11:28	そうですね。
1:11:29	ちょっと会もきちっと決めて、ちょっと逆算して、そう、ツツミツツミこをイセってのはちょっと、
1:11:37	まず
1:11:37	からおっしゃいます。
1:11:40	それがSteeringチームの役割ですから、当然、
1:11:46	はい。

1:11:47	そうそう。来週早々にでも言ってくれないと。枠も含めてそうですねはい。別途調整させてください。
1:11:55	これぐらいでよろしいですか。
1:11:58	何ですか。
1:12:00	それでは、終了し、